

「人文学部学生プロジェクト」ブログ

人文学部の学生が自ら企画・編集・執筆するブログ!

blog



授業やゼミ、実習、留学、就職活動など、人文学部に関する様々なトピックについて学生の視点から知ることができます。

Instagramでは更新情報をお知らせしています。ぜひご覧ください!



CAMPUS GUIDE 2025

新潟大学 人文学部



Faculty of Humanities,
Niigata University

人を知り 文化を学び 未来を拓く

2024年7月31日発行

発行／新潟大学人文学部 編集／人文学部広報・情報委員会

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐二の町8050番地 TEL 025-262-6281

(新潟大学人文学部学務係)

<https://www.human.niigata-u.ac.jp/>

印刷／株式会社 ハイングラフ 〒950-2022 新潟県新潟市西区小針1丁目11番8号 TEL 025-233-0321

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

心理・人間学

Psychology and Human Studies

社会文化学

Society and Culture

言語文化学

Languages and Cultures

Contents

02 学部長からのメッセージ
入試
奨学金、学費・経済支援制度

03 人文学部の教育

05 人文学部で取得できる資格

学位プログラム

07 心理・人間学

Psychology and Human Studies

心のしくみを実証的に解き明かす心理学と、人間の精神が生み出してきた思想的文献を読み解く人間学の分野を学びます。

11 社会文化学

Society and Culture

世界の歴史的・文化的・社会的背景を、様々な調査を通して明らかにします。歴史学、社会・地域文化学、メディア論などを学びます。

17 言語文化学

Languages and Cultures

日本、中国、朝鮮、イギリス、アメリカ、ドイツ、フランス、ロシアの言語・文学・文化を学びます。そのために必要となる高い言語運用能力、鋭い言語感覚、そして豊かな表現能力を身につけます。

23 特集 人文学部生の時間割を公開!

25 国際交流・大学間交流

26 留学生の声

27 就職データ

28 卒業生の声

29 キャンパス マップ

学部長からのメッセージ

タフな知性を身につけよう

大学生と話をしているいつも感じることは、その「優しさ」と「真っ当さ」です。私自身の学生時代を思い起こしてみても、いまの学生さんの方がずっと多様に理解があり、他者に細やかに気遣いができ、「正しさ」に価値を置いているように見えます。こうした資質をベースとして持っていることは、皆さんの強みに違いありません。それでは、大学はそんな皆さんに何を付け加えることができるのでしょうか。

それは一言でいえば〈複眼的なもの見方〉だと考えています。たとえば外国の言葉や文化を学ぶことは、自分とは異なる思考法を身につけることにつながります。また、過去の歴史を学ぶことによって、異なった角度から現在を見つめ直すことができるでしょう。目に見えない人間の心や意識を科学的にとらえる方法を知ることは、他者に向ける眼差しに変化と深みをもたらすかもしれません。

人文学部で学べるさまざまな学問は、私たちの「ものの見方」を次々と更新し、立体的なものにしていきます。ものごとを平板に理解して済ませるのではなく、複雑な課題を複雑なまま粘り強く考えていく力。それは、現代社会を皆さんがタフに生き抜いていくための武器となるでしょう。私たちは、優しさに加えて知的なタフさを、皆さんに身につけてもらいたいと考えています。

人文学部には多くの専門分野があります。とくに最初のうちは、できるだけ広く学んで下さい。2年生から学位プログラムに進みますが、その一つ一つがゆったり広めに設計されています。また新潟大学は、学部の枠を超えた「全学分野横断創生プログラム」にも力を入れていて、自分の好奇心に応じて本当に幅広く学ぶことができます。

最終的には特定の専門分野を選び、ゼミで関心を共有する仲間と議論し、その専門を深める形で卒業論文を書いてもらいます。これまで広く学んできたことも生かしながら、自分の背骨となるような深い探求を目指すのです。広い学びと深い学び、それによって身につく複眼的な思考とタフな知性は、皆さんの一生の宝物になるはずですよ。



新潟大学 人文学部長

松井 克浩

MATSUI Katsuhiko

入試

一般選抜	前期日程	定員 140人
	後期日程	定員 40人
学校推薦型選抜		定員 30人
計		定員 210人

そのほか、人文学部には、下記の特別選抜があります。

- 帰国生徒特別選抜
- 社会人特別選抜
- 帰国生徒特別選抜(10月入学)
- 私費外国人留学生特別選抜
- いずれも若干人
- 3年次編入学試験(定員6人)

なお、入試情報の詳細は、令和7年度入学者選抜要項および学生募集要項を参照してください。

■ 学生募集要項(出願書類添付)請求方法

募集要項(出願書類添付)を請求する場合は、新潟大学Webページの資料請求ページ(<https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/request/>)にアクセスして請求してください。

奨学金、学費・経済支援制度

本学は、国が実施する「高等教育の修学支援新制度」の対象機関に認定されていますので、一定の基準を満たす方は、給付型奨学金の支給と授業料等の免除を併せて受けることができます。詳細は日本学生支援機構のホームページをご確認ください。

また、本学独自の制度として、大学進学を諦めることのないよう経済的な支援を行う「輝け未来!!新潟大学入学応援奨学金」や、一時的な学資の補助を行う「修学支援貸与金」、「人法経3学部の学生のみを対象とする奨学金」等、各種支援制度をご用意しておりますので、必要に応じて本学ホームページをご確認のうえ、担当窓口へお申し出ください。

人文学部の教育

教育理念と求める学生像

新潟大学人文学部は、人間・社会・文化を対象として、多角的・総合的な視野から教育と研究を行うことを理念としています。幅広く人文学の諸分野について学修できる良質な環境を整えることにより、次の4点に集約される基本的な能力・態度・姿勢を有する人材の養成を目標としています。

- 人間、社会、文化に関わる諸問題に多角的・分析的にアプローチを試み、主体的に取り組むことができる。
- 社会のなりたちとその歴史を深く理解し、人類が生み出した文化に敬意を持ち、その価値を後世に正確に伝えることができる。
- 身近な課題の探究を通して、地域社会に貢献する。
- 異文化に対する理解を深め、調和ある国際社会の形成に貢献する。

こうした教育理念に基づき、人文学部では、**しっかりとした基礎学力と旺盛な学習意欲をもつ人、豊かな感性と強い関心をもって学習に取り組む人、そして人間・社会・文化に関わる諸問題に関心のある人の入学を望みます。**

カリキュラムのポイント

1. 1学科制による体系的&横断的な学び

人文学部のカリキュラムは、教養教育と専門教育の連携によって幅広い教養と確かな専門知識を涵養し、人文的実践知を育むことを目指しています。3つの学位プログラムの下に多様な専門分野が用意されていますが、それぞれの専門分野について体系的な学習の道すがら工夫されていると共に、先端的な内容を紹介する講義も充実しています。同時に、1学科制であることを活かし、人文学の諸分野を横断的に履修しながら卒業に必要な単位を取得することができるようになっています。

2. 4年一貫の演習科目で課題探求・解決力を育成

演習科目は学生のプレゼンテーションやディスカッションを重視する授業ですが、一人一人の学生が存分に力を発揮できるよう受講者数その他について丁寧に配慮し、きめ細やかな指導を行うことにより、課題を探求し解決する能力を含む「人間力」の育成に力を注いでいます。

3. 英語・外国語科目の充実

初修外国語(いわゆる第二外国語)では、日本人教員とネイティブ教員による週3~4コマのインテンシブ授業により、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能のバランスに配慮して、総合的な運用能力を1年間で涵養します。英語・初修外国語ともに、中級・上級科目が選択科目として用意されているので4年間かけてハイレベルな語学力を手に入れることも可能です。古典語科目も開講されています。

4. 表現プロジェクト演習などによる活動成果の発信

学生の主体的な取り組みと実践によるアクティブ・ラーニングも大きな学習効果を上げています。たとえば表現プロジェクト演習では、学生が協同して創造的な活動を行い、その成果を地域社会に向けて積極的に発信します。文学や映像作品の製作・発表、地域の民俗芸能への参加など、これまでの人文学部の枠組みを超える先駆的内容を展開し、国内外の教育関係者からも高い評価を受けています。

5. きめ細かい教育体制—初年次教育、キャリア科目

これらの豊かな学びは、学年に応じたきめ細かい教育体制により実現されています。1年次には人文入門や初年次演習などの初年次教育が用意されており、大学での高度な学修へとよりスムーズに移行できるようになっています。キャリア科目では、様々な業界の現場で活躍する方々から直に話を聴くことができ、卒業後の人生設計や就職試験について具体的に考えることができます。



カリキュラム内容

人文学部のカリキュラムは、「教養教育に関する授業科目」と「専門教育に関する授業科目」に大きく分かれています。学生の皆さんが専門的な内容を深く学べると同時に、これからの社会で活躍するための不可欠な技能を身につけるように、多彩な授業内容が用意されています。人文学部では特に、少人数制の演習科目を重視しています。人文初年次演習(1年次)、基礎演習(2年次)、発展演習(3・4年次)、表現プロジェクト演習(2~4年次)と、4年間継続して演習科目で学べるのが、人文学部の最大の魅力の一つです。

学年	1				2				3				4			
セメスター	1		2		3		4		5		6		7		8	
ターム	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
教養教育	外国語(必修)				外国語(選択)								卒業論文			
					キャリア科目											
専門教育	人文初年次演習				各種選択科目(新潟大学個性化科目、人文系科目、社会系科目、自然系科目など)											
					表現プロジェクト演習											
					基礎演習				発展演習							
					入門講義				基礎講義・実習・研究法				発展講義			

新潟大学では2学期4ターム制の導入により学事暦を柔軟化し、海外留学や長期学外学修等との両立を実現しています。

1年次(第1、第2セメスター)

外国語を集中的に学びます。人文初年次演習では、25名以下の少人数編成により大学での学習に必要なスキルを身につけます。入門講義では、人文学部の各専門分野への導入を行います。また第2タームには、人文諸科学の最先端を網羅する人文系フロンティア、短期集中英語プログラムiStepなど、学内外の集中的な学修プログラム等への参加が可能となっています。

2年次(第3、第4セメスター)

1年次末の希望調査にもとづいて、2年次から各学位プログラムに所属します。基礎演習では、各学位プログラムにおける基本的読解技術・分析能力を養います。基礎講義・実習では、各専門分野の基礎を講義形式で理解し、実習を通して体得します。2年次以降、キャリア科目や表現プロジェクト演習の履修が可能になります。

3・4年次(第5~8セメスター)

発展講義・実習では、専門性の高い最先端の内容を主として講義形式により理解します。発展演習では、原典・原資料の解読、資料・データの分析・解析、プレゼンテーションや討論を通して、自らの研究テーマを深めていきます。人文学部4年間の成果を、卒業論文として結実させます。

人文学部の学位プログラム

2年次以降では、次の三つの学位プログラム(到達目標達成型プログラム、メジャー)のいずれかに登録して学修を進めることになります。新潟大学の特徴である学位プログラムとメジャー・マイナー制度の関係については、大学公式サイトのほか、本案内の23ページをご覧ください。

心理・人間学 7~10ページ

心のしくみを実証的に解き明かす心理学と、人間の精神が生み出してきた思想的文献を読み解く人間学を取り扱います。個別の学問分野としては、心理学、哲学・西洋哲学史、倫理学、宗教思想史、芸術学があります。

社会文化学 11~16ページ

世界の歴史的・文化的・社会的背景を、様々な調査を通して明らかにします。個別の専門としては、歴史学(日本史、アジア史、西洋史)、社会学、文化人類学、民俗学、考古学、人文地理学、芸能論、メディア論があります。

言語文化学 17~22ページ

文化としての言語を探求していき、高い言語運用能力、鋭い言語感覚、そして豊かな表現能力を身につけます。個別の専門としては、日本語学・日本文学、中国語学・中国文学、朝鮮語・朝鮮文学、イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、ドイツ文学文化、フランス文学文化、ロシア文学文化、言語学があります。

人文学部で取得できる資格

人文学部では、幅広い学問分野を学びながら、社会で活かせるさまざまな資格を取得することができます。ここでは、人文学部の授業を履修することが取得条件(の一部)になっている資格を紹介します。自らの目標に応じて必要な資格を取得し、将来の可能性を広げてください。

公認心理師 ～社会の中で働く「心の専門家」の国家資格

公認心理師になるには、医療・福祉・教育・司法・産業などの分野で心理に関する支援や相談を行うための専門的知識・技術を学びます。まず大学で必要な25科目を取得して卒業し、さらに大学院で必要な科目を取得して修了するか指定施設での実務経験を経ると、公認心理師試験の受験資格が得られます。人文学部は公認心理師に対応しています。なお、新潟大学は大学院も公認心理師に対応しています(現代社会文化研究科・臨床心理領域)。

▶ 「心について考える」を仕事に

公益財団法人金森和心会 針生ヶ丘病院 発達心理課 河合 瑞季

心について興味をもったことはありますか？ 私は高校生の頃にカウンセラーの仕事に興味をもち、人文学部に進学しました。人文学部で学べる心理学は、人はいかに見たり聞いたり、感じているのかから学びます。これは心の不調や臨床心理学などから遠いものを感じられるかもしれません。しかし、私は心について考えていく上で基盤となるものだと思います。例えば、子どもたちは言葉で表現する力が十分でないため、行動をよく観察する必要があります。その子が何をみて、どう感じて、行動したのか、一つ一つ考える時に学部で学んだことを思い返します。私が心理の仕事に携わっているのは、心理学のおもしろさを感じられた人文学部での学びと友人や先生方との出会いがあったからこそです。ぜひ、人文学部で心理学のおもしろさ、楽しさを体感してください！



教員免許状 ～希望を育て、未来へ送る

生徒たちの成長に力を貸すことで、次の時代を共に作っていきける魅力ある仕事。近年、力のある教員を求める声が高まっています。中学校、高等学校(社会、地理歴史、公民、国語、英語、フランス語、ロシア語、中国語、情報)の教諭一種免許が取得可能です。教職および各教科に関する科目、また教育実習等を含め69単位が必要となります。取得すべき単位は増えていますが、その多くは卒業要件、専門の研究と関わるものとなっています。

▶ 探究は続くよどこまでも

新潟市立万代高等学校 教諭(国語科) 高頭 勇貴

高等学校では「総合的な探究の時間」をはじめ、「探究」と名前についた科目がいくつも開設されました。小・中学校でも探究学習が行われています。「探究をどうすればよいのか」と現場の教員は悩んでいますが、その問いを解決する糸口は「大学での学び」にこそあると考えます。なぜなら、「大学での学び」がそもそも探究的だからです。自分で問いを設定し、調べて、レポートにまとめたりゼミで発表したりして、思考を巡らす経験は、直接、教育現場で生かれます。AIの発達により、「それなりの答え」がすぐに出る社会になりました。これからの時代の教師の魅力は、生徒たちと一緒に、AIさえ出せない「未知の答え」に向かって探究し続けられるところにあると思います。未来の若者と共に人文知を耕していく同志が増えることを心から期待しています。



学芸員 ～黒子のインフルエンサー

モノを通じて、地域の歴史や暮らしの変遷を子どもから大人までわかりやすく伝える。地域にゆかりある芸術家の作品を通じて、見る人に驚きや発見をもたらす。陰に陽に訪れる人々に影響を与える仕事。それが、博物館や美術館で働く学芸員の仕事です。学芸員資格を取得するには、博物館概論、博物館実習など9科目19単位と学位(学士)が必要です。新卒での採用は狭き門ですが、夢を叶えている先輩が何人もいます。挑戦あるのみ！

▶ 歴史民俗資料館の専門職員として

仙台市歴史民俗資料館 学芸員 渡邊 直登

皆さんは日々の暮らしを営む中で、自分自身や周囲の人々が行っている行為にはどのような意味があるのだろうかと疑問に思うことはありませんか。幼少期から「死とは何か」という漠然とした疑問を抱いていた私は、大学に進学する頃には死そのものよりも、葬式や墓の建立、墓参りなど死者を葬り祀る行為とその意味に関心を抱くようになり、それが民俗学を専攻するきっかけとなりました。大学院修了後は仙台市歴史民俗資料館において、展示事業や資料の収集、調査研究、市民向け講座の講師など、さまざまな学芸業務に従事しています。新潟大学で民俗学を専攻したことによって得られた知識と経験を基礎とし、調査地を歩き回って行く観察と人々の語りから得られた地域の生活文化に関する知見を、展示や講座などをとおして市民に伝え、その面白さ、魅力に気付いてもらえたとき、民俗学をとおした社会貢献ができていたことを感じます。



社会調査士 ～ヒト・モノ・コトを正しくつなぐ「社会調査の専門家」

商品販売から世論調査まで、さまざまな場面でアンケートやインタビューなどによる社会調査が行われるようになってきました。しかし、実際には現実を歪めるような調査も少なくありません。そこで、社会調査を正しく行い、調査結果を正しく解釈できる人材を認定する社会調査士資格が誕生しました。社会調査実習などの科目(6科目12単位)の履修が条件で、年間約2,500人が取得しています。主に行政やコンサルタント、マスコミなど、社会調査に関わる職を目指す学生が挑戦しています。

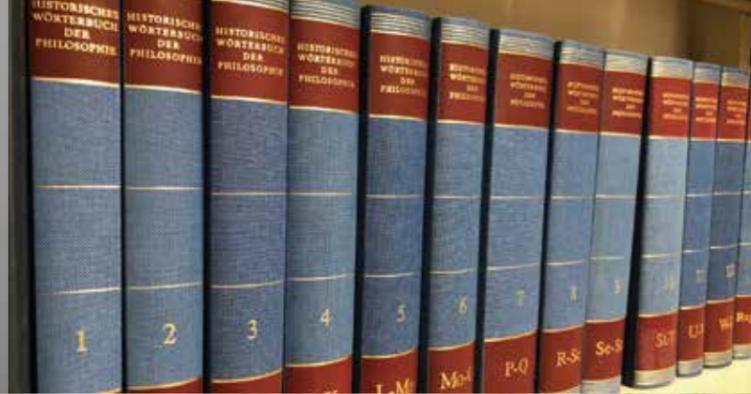
▶ 置かれた場所で柔軟に楽しむ

公益財団法人 東京都福祉保健財団 相田 ひな子

私は就活時、家族に障がいを持つ弟がいたこともあり福祉業界を志望しました。現在は、東京都福祉に関わる方へ支援を行う職場で働いています。最初の配属は財務室で、今では電卓とにらめっこする毎日です。予想もしなかった部署でしたが、まずは社会人としての経験をつけることから始めています。そこでも、社会調査士の資格取得を通して得られた適応力が支えになっています。なかでも、社会調査実習や卒論執筆におけるインタビューの経験は大きな収穫でした。様々な方のお話を聴く中で見識が広がり、相手の立場に立つ意識も身に付いたと感じています。結果、どのような場所でも柔軟に人や集団と関わる適応力を得ることができました。今後は、さまざまな支援のあり方を検討する場面でも社会調査士のスキルを活かしていきたいです。社会調査士の資格は、就活時に武器となるのはもちろん、資格取得の過程で得られる経験は、どのような進路を選択しても必ず役立つことと思います。社会調査士、取得してみませんか。



これら以外にも、人文学部では、**図書館司書**(学外司書講習の受講が必要)、**社会福祉主事任用資格**、**情報セキュリティマネジメント試験**(国家試験)、**各種語学検定**など、さまざまな資格や検定の取得・認定を支援し、実績を挙げています。



教員からのメッセージ



人の心を科学する

小林 恵 准教授 KOBAYASHI Megumi

哲学とは何か

岡嶋 隆佑 准教授 OKAJIMA Ryusuke

「心理学」という言葉を聞いて、皆さんはどんなことをイメージしますか？ カウンセリングとか心のケア、でしょうか？ 例に挙げたような分野は心理学の中の一つのサブフィールドに過ぎません。私たちが日常的に何気なく行っている「見る」「聞く」に代表される知覚や、物事を思考、記憶、感情を抱くことなど、ありとあらゆる事象が心理学で研究される対象です。

人は太古の昔から「心」に興味を持っていました。遡れば、ソクラテスやプラトン、アリストテレス、デカルトなど古代ギリシャの哲学者たちが、心はどこにあるのか、どんな機能を持っているのかを考えていたのです。科学としての心理学が誕生したのは1800年代後半のことです。近代の心理学では、人の観察可能な反応・行動(キーを押す、アンケートに回答する、など)から、心理現象(知覚や思考、記憶、感情など)を推測することで、わたしたちの心はどのような働きをしているのか、人間とは何かという大きな問いに挑んでいます。私たちが用いているのは、実験を用いた自然科学的な手法です。実験によって得られた数値を、統計を使って解釈、理解していきます。

人の心の成り立ちを調べるために、おとなの人以外を対象に研究することもあります。例えば、人の赤ちゃんを対象とした研究です。自分の周りの世界を見たり、聞いたり、感じたりする心の働きは、生まれてまもなくの赤ちゃんもおとなと同じなのではないでしょうか？ 誰もが赤ちゃん時代を過ごしていますが、その頃の記憶はなく、どのような世界を見ていたのかを知る人はいません。しかし、写真のように、色々な画像を実験で見せ赤ちゃんの行動(注視する時間など)を計測することで、赤ちゃんの心の機能や発達を調べることができます。

このように、心理学はさまざまな手法を用いて、人の心の解明に挑んでいます。ぜひ皆さんもその一員になってもらえたら嬉しく思います。

「秩序は全てのものにとって同一であり、神が創ったものでも人間が作ったものでもない。常にあったし、あり、また、あるだろう、常に生き続ける火として。相応しい分だけ燃え、相応しい分だけ消える」(クレメンス『雑録集』V 105から。訳文は納富信留『ギリシア哲学史』によるもの。)

哲学とは、「問い」を提起し、それに対して「応答」する、絶え間ない営みのことです。西洋哲学史上、最初に立てられた問いは、初期ギリシアの哲学者タレスによる、「万物のアルケー(始まり・原理)は何か」というものでした。上に引いたのは、同じく初期ギリシアの哲学者ヘラクレイトスが残した断章です。「火」というのが、タレスの発した問いに対するヘラクレイトスの応答だったというように覚えている人も多いでしょう(アリストテレスも『形而上学』でそうした整理を行なっています)。

しかし哲学にとって重要なのは、「火」や「水」といった答えそれ自体ではなく、問いを提起し、それに応じ、さらにその答えについて吟味するという絶えざる努力の方です。しかも、ただ漠然と問いを立てれば良いというわけではありません。目の前で生じている事柄や私たちが置かれている状況に相応しい言葉や表現の仕方がどのようなものであるかをよく考えてからでなければ、解決不可能な問いや有害な問いが生じてしまうこともあるからです。その意味で、上の断章の「常に生き続ける火」は、哲学のあるべき姿についての私のイメージにもなっています。

哲学は、宇宙や時間、自由や責任といった古典的なものから、環境倫理や人工知能といった現代的なものまで幅広い主題を扱う分野であるため、私一人だけで立てることができる問いは非常に限定的なものです。みなさんそれぞれの関心、観点から生じた問いについて一緒に哲学できるようになることを願っています。(写真は人間学の学生・教員で行なった焚き火会の時のものです。)

心理・人間学

Psychology and Human Studies

学位プログラム

- ▶ 心理学
- ▶ 倫理学
- ▶ 芸術学
- ▶ 宗教思想史
- ▶ 哲学

ひとは何を思い、生きるのか？ 人間という謎にいどむ

私たちにとって、人間という存在ほど不思議なものはありません。ひとの心はどのように働き、何を生み出すのでしょうか。このプログラムでは、実験や調査によって心のしくみを実証的に解明したり、人の心が作り出してきた思想的文献や古今の芸術作品を読み解いたりすることで、人間の謎に迫ります。

心理・人間学プログラム

心理・人間学プログラムは、人間とその心の解明をめざして、心理学と人間学の分野を学ぶプログラムです。

人間の行動やその心の働きをあつかう心理学分野では、実験や調査などの実証的方法によってこれらの問題にアプローチします。心理学実験や調査に関わる基本的技能を身につけるとともに、知覚・認知、記憶・学習、感情・行動、性格、対人関係や集団の心理、心理学の応用など、幅広い領域にわたる心理学の知識の習得を目指します。

人間学分野には、哲学・西洋哲学史、倫理学、宗教思想史、芸術学の学問領域があります。人間の心(精神)は、日常

的な言語活動から哲学的な思考、芸術の探究にいたるまで、そして道徳的な善悪の判断から宗教的な信仰にいたるまで、じつに多様な精神的所産を生み出してきました。人間学分野では、主として外国語や古典語で書かれた原典文献の読解を通して、これら哲学、宗教、科学、芸術などの人間の知的な営みの原理を解き明かし、人間性について理解を深めていきます。

このプログラムは、人間が直面する様々な課題に対して、人間についての深い理解に裏づけられた科学的分析と思考ができるような人材の育成をめざします。

心理・人間学プログラムで学べること

- 人間とは何か？
- 人間の認知のメカニズムを探る
- 学習と記憶のしくみを知る
- 集団の中の心の動き
- 美術作品を通じて人間性を考える
- 子どもの心の発達を知る
- 欲求の心理を探る
- ひとはなぜ眠るのか？
- 哲学的に思考し、議論する
- 造形芸術の歴史を学ぶ
- 人類の思想的遺産を読む
- 宗教を思想的に理解する
- 科学的な方法論とは何か？
- 哲学や思想の歴史を学ぶ
- 近現代の美術と写真
- 生命と環境の倫理学へ
- 古典詩学の文化史を学ぶ
- 王朝の言語芸術を読み解く
- 古典語(ラテン語など)を学ぶ
- 現代の視覚文化

教員紹介

青柳 かおる (アオヤギ カオル)

AOYAGI Kaoru

教授 宗教学・イスラーム思想史

ガザリー(1111年没)を中心に、アラビア語の文献を読みながら、古典時代のイスラーム思想史、とくにスーフイズム(神秘主義)を研究しています。ガザリーの『婚姻作法の書』を翻訳し、婚姻、女性、セクシュアリティについてスーフイズムの視点から研究してきました。最近では、現代のイスラーム法学者の文献も分析し、古典時代から現代までのイスラームの女性問題および生命倫理の変遷を明らかにしたいと考えています。

猪俣 賢司 (イノマタ ケンジ)

INOMATA Kenji

准教授 比較文化史

小さな真珠のような一首の歌の中に繰り広げられる煌めくような妖艶な世界や水底の月夜、それを可能とする巧みな修辞技法と美しい韻律、どのようにして『古今和歌集』でそれが実現されたのであろうか。比較詩学・比較文化史の視点から、西洋の古典詩学・ルネサンス詩学や中国の六朝詩学と日本の王朝歌学を比較研究してきました。ダンテ、ペトラルカ、謡曲からゴジラ映画まで、その表現原理と表現史を辿りながらも、屏風歌人である紀貫之の「むすぶ手」が映し出す泡沫の面影に心が慰められます。

甲斐 義明 (カイ ヨシアキ)

KAI Yoshiaki

准教授 芸術表現論

専攻は近現代美術史で、その中でも特に、写真の歴史について研究してきました。授業では日本写真史、20世紀美術史、ドキュメンタリー映画、イメージ論、絵本など視覚文化に関する幅広いトピックを取り上げています。少人数で行われる演習形式の授業では、他者が作った画像の分析方法を学ぶだけでなく、デジタルカメラや画像処理ソフトの使用を通して、「手を動かして」イメージについて考える機会を作ることを心掛けています。

田中 咲子 (タナカ エミコ)

TANAKA Emiko

教授 西洋美術史

専門は西洋美術史です。美術史とは、必ずしも美術の歴史そのものを研究するとは限らず、美術作品を手掛かりに、当時の社会や人間の諸相の解明を目指す学問でもあります。私自身の研究領域は古代ギリシア美術です。当時の墓碑浮き彫りをはじめとする葬礼美術や、壺絵に描かれたギリシア神話、スポーツの図像などを通じて、当時の人々の価値観や規範概念について考えています。授業では西洋古代から現代に至る幅広い作品を扱います。

新美 亮輔 (ニイミ リョウスケ)

NIIMI Ryosuke

准教授 認知心理学

認知心理学の研究をしています。主に視覚認知、周囲の物や状況を見て認識する物体認識・情景認識といった人間の知覚・認知の根幹となるメカニズムを調べています。たとえば、見る角度や表情や髪型が違って同じ人の顔を同じ人と認識できるのはなぜでしょう？ みんなに好まれる美しい見た目の物とそうでない物があるのはどうしてでしょうか？ 人は目のみによって見るにあらず！「見る」ことの奥深さと楽しさを追究してみませんか。

横山 仁史 (ヨコヤマ サトシ)

YOKOYAMA Satoshi

助教 臨床精神神経心理学

うつや不安といった様々なこころの状態を作り出す脳のしくみを調べています。脳がどのようにそれらの気分を引き起こし、自ら調節しているのかといった基礎的な理解から、どのような場合にそれがうまく働かなるのか、治療を通して脳がどのように回復していくのかといった応用的な取り組みも行っています。人の精神的健康のメカニズムを脳から解明していく面白さを一緒に探に行きましょう。

阿部 ふく子 (アベ フクコ)

ABE Fukuko

准教授 哲学・西洋近代哲学

デカルトの「我思う、ゆえに我あり」に始まる西洋近代哲学の根源的なテーマである「人が考えるとはどういうことか」について探究しています。古来より人間は理性的動物とも言われますが、その理性の能力の可能性や限界はどこにあるのか——などと理性の謎に迫ってみるのは、人間が自分自身を知る思考の旅のようでも面白いです。また哲学教育にも関心があり、多様な立場の人たちと身近な話題で哲学対話を実践したりしています。

岡嶋 隆佑 (オカジマ リュウスケ)

OKAJIMA Ryusuke

准教授 哲学・現代思想

ベルクソンを中心としたフランス現代哲学が専門です。これまでは、時間や意識、知覚、記憶といったテーマを中心に研究してきました。今後は、差別感情やビデオ・ゲームの哲学などより応用的な主題にも取り組んでいく予定です。学生の皆さんには、哲学・倫理学の思想に触れることによって、与えられた課題をこなすのではなく、自ら問いを立てることができる力を養って欲しいと考えています。

小林 恵 (コバヤシ メグミ)

KOBAYASHI Megumi

准教授 発達心理学

視覚認知、特に顔や身体からの他者認識の発達過程が主要な研究テーマです。生後数ヶ月の赤ちゃんから大学生を対象としており、視覚認知のさまざまな能力がいつ獲得されるのか、大人とどのように違うのかを研究しています。近年では学内外の共同研究者と協力して、発達障害児や早産児の視覚認知の解明にも取り組んでいます。私たちが何気なく見ている日常の世界を、赤ちゃんの目を通して見つめ直せるのがこの分野の魅力です。

中嶋 豊 (ナカジマ ユタカ)

NAKAJIMA Yutaka

准教授 応用・実験心理学

主に眼の錯覚(錯視)について研究しています。錯視は見て面白いだけではなく、人間がどのように世界を知覚しているかを知る重要な手がかりなのです。また、今後身近になる技術(自動運転、拡張現実)に対して人間の知覚特性を最大限に生かすための応用研究も行なっています。このように研究対象は知覚に関する疑問から社会の問題まで幅広いです。心理学実験を通して、こうした疑問や問題と一緒に取り組んでいきましょう。

福島 治 (フクシマ オサム)

FUKUSHIMA Osamu

教授 社会心理学

講義では、自尊心や魅力、恋愛や集団心理などが話題の中心です。身近な事柄なので、自らの経験と関連させて聴く学生さんも多いようです。人格心理学も教えています。こちらでは、性格についての様々な理論を話しています。専門家の考える性格は、一筋縄ではとらえきれませんが、そこから考え方の多様性を学んでほしいと思っています。研究テーマは自己概念の変動性です。入学して新しい「自己」を見つけましょう。

学生の声

「型」に当てはめない

野村 香実 宗教思想史4年

私は宗教、特にイスラム教に(最近は仏教にも)関心を持ち学んでいます。一口にイスラム教と言っても、様々な分派があり、また聖典の解釈も宗派や個人により異なり、「イスラム教徒だから、この人はこう」なんて型に当てはめることは出来ないのです。同じ本を読んでも、それぞれ抱く読書感想が違うように、聖典を読んだ人の数だけ解釈があり、すべてを型に当てはめることなんてできないのだと実感できるのも宗教を学ぶ面白さであると感じています。宗教学に限らず、人間学ではきっとあなたの中にある、固定的な価値観を壊すような出会いがあるかと思います。日常に溢れる「型」を打ち砕く、刺激を求めるその貴方、ぜひ人間学で共に学んでみませんか？



普遍にあこがれて

大平 詩乃 芸術学3年

古代ギリシアの彫刻や陶器画を見ると、むしように「いいなあ」という気持ちが湧いてきます。いったい自分は美術のどこに心惹かれているんだろう?と考えたとき、美術作品のもつ普遍性にあこがれていることに気がきました。はるか遠い昔に異国の地で作られた作品が、修復等で多少人の手が加えられているにしろ、ほぼ作られたときから変わらないままでそこに在る。そして、私たちが作品を見て得た感動を、当時の人々も感じていたのかもしれない……そう考えるとなんだかドキドキしてきませんか? もちろん古代だけでなく、中世や現代の美術作品もそうです。大昔から今に至るまで私たちの心を動かし続けてきたアートについて、ぜひ学んでみませんか。目まぐるしい情報社会のど真ん中に生きている私たちに大事なことを教えてくれるはずですよ。



心を「読もうとする」学問

両川 彩菜 心理学4年

好きな人の心の中が読めたらなあ。なんて思いませんか? 心理学は心の中を「読もうとする」学問です。何を考えているのか毎日アンケートを取りましょうか。積極的と控えめのどちらが好きなのか2パターン試して反応を見てみましょうか。今誰が好きなのか確かめるためにクラスメイトの顔写真を並べて提示してみましょうか。結果はネガティブな感情のときに人間関係について考えることが多く、積極性のある人に好意を持つようです。あなたではない他の人の写真に視線が長くいくようですね、脈拍も速くなっていました。この人に特別な感情があるようです。ということは、弱っている時に積極的に仕掛ければ今好きな人よりもあなたのことを見てくれる可能性が高まります。…と、こんな感じに。ここまで面白そう!と感じていたらあなたはもう心理学の虜です。ぜひ心理学分野へ!





教員からのメッセージ



歴史学とはどんな学問か

中村 元 教授

NAKAMURA Moto

この文章に目をとめた方の中には、大学で歴史を学ぼうと思っておられる方もいるかもしれません。大学で学ぶ歴史学とはどんな学問か、私なりの理解をお示したいと思います。

ある辞書は「歴史」の説明の一つとして、「過去の人間生活に起こった事象の変遷・発展の経過。また、その、ある観点から秩序づけられた記述」と記しています(『日本国語大辞典』)。ここに記された通り、「歴史」には「過去の人間生活に起こった事象」やその「変遷・発展」という「あったこと」としての側面と、そうした事象に関する「ある観点から秩序づけられた記述」という「書かれたこと」、絵画や口承などを視野に入ればもう少し広く「認識されたこと」としての側面があるといえます。私たちは「あったこと」を直接知覚することは出来ないで、私たちが知る「歴史」とは、多くの場合「認識されたこと」になります。

では「認識されたこと」としての「歴史」は、どのように出来ているのでしょうか。ある歴史家は、それは「過去の痕跡」を手がかりとして、そのあいだの「意味連関を言語を媒体として表現する」行為に基づくと説明しています(二宮宏之「歴史学の作法」『歴史を問う4 歴史はいかに書かれるか』)。

歴史学という学問を、上記の説明を参考に整理してみます。歴史学ではまず、既にある「認識されたこと」としての「歴史」が、いかなる「過去の痕跡」すなわち歴史資料に依拠しているか、そのあいだにいかなる「意味連関」が結ばれているか、十分に吟味し把握するトレーニングを行います。その上で、既知の「過去の痕跡」の理解を改めたり、新たな「過去の痕跡」を発見したり、それらの間の「意味連関」を再考したりして、「歴史」をいわば更新することを目指して研究します。抽象的な説明になりましたが、たとえば写真のような新発見の「過去の痕跡」に出会い、「歴史」を更新し得る感触をもつ時は実に嬉しいものです。未来の歴史学の担い手をお待ちしています。

操作でも隷従でもない生き方

園田 浩司 准教授

SONODA Koji

あなたは自己操作感をしっかりと持っていますか。自分が動作の主体であるという感覚のことです。「♪言ってるのか言われてんのか、やってんのかやらされてんのか、ほんとのところはどなん!?」。ラッパー、鎮座DOPENESS『mode』という曲にこんな歌詞があります。

ただ、自己操作感だけで満ちた身体もまた良くないのだと思います。それは周囲が見えていない証拠だから。そのさじ加減が難しい。そこで、どう生きるべきかまず手がかりとなるのは、いま、あなたがなにに恐れているかを点検することでしょう。

フランス人は、フランス革命を経て「個人的自由」を解くこととなりますが、それより以前に、アメリカの先住民モンタニュ=ナスカビは、宣教師たちに対して、「フランス人はつねに目上の人間を恐怖しているという点で奴隷と変わるところがない」と批判したと言います(D. グレーバー&D. ウェングロウ『万物の黎明』)。なるほど、自由の思想は、西洋起源ではなさそうですし、そもそも起源などないのかもしれませんが。異文化の人々の知的生活について研究するのは、「人間『自由』にするもっとも教育的に有効な方法だ」と、ある人類学者は語ります。

自己操作感に満ちた傲慢な自由でもなく、かといって、自己が他者に乗っ取られていることにも気付かず、それがまるで自然だと感じている自発的隷従でもない、ちょうどい個人的自由のありかたは、人文学部で培うことができる、とわたしは考えています。

学術研究では、ある研究課題に対して、研究者の主観や偏見で、問いかけや答えを押し付けられないことが目指されます。あくまで「研究者は資料の僕(しもべ)、資料が主人公である」と考えます(澤田昭夫『論文の書き方』)。様々な資料やデータ、そして現実世界に自己を委ね、社会と関わりながら、自己を知る。その点、研究も人生も同じです。大学生活を通して、あなたにちょうどよい自由な生き方を見つけてください。

社会文化学

Society And Culture

学位プログラム

- ▶ 社会学
- ▶ 人文地理学
- ▶ 日本史
- ▶ メディア論
- ▶ 考古学
- ▶ 民俗学
- ▶ アジア史
- ▶ 文化人類学
- ▶ 芸能論
- ▶ 西洋史

世界の多様性に触れ、文化を読み解く

ますます多様化する現代社会——その理解は、歴史的・文化的・社会的背景を正しく捉えることに始まります。各種の資料の調査、あるいは現地調査やメディア実践を通じて、文化の生き生きとした姿に触れるとともに、深く理解する力を身につけましょう。

社会文化学プログラム

社会文化学プログラムは、人間の社会文化的な営みを、歴史学、社会・地域文化学、メディア論の各領域を通じて学びます。履修にあたっては、一つの領域を選んで深く学ぶとともに、複数の領域を関連・総合させて学習を進めます。

歴史学では、歴史をテーマとして、人々の営みを専門的に学びます。歴史を明らかにするための資料・史料は、古文書や碑文、木簡、絵画、写真や地図、統計など、じつに様々な形をとって私たちの前に蓄積されています。それぞれのテーマに合った資料・史料の性質を理解し、読み解くスキルを身につけます。

社会・地域文化学は、社会学、文化人類学、民俗学、考古学、

人文地理学、芸能論の6つの学問分野があり、いずれもフィールドワーク=現地調査を通して学びます。直接現地に足を運び、自らの身体を使い、五感を働かせて調査し考えることで、人々が築いてきた世界を実感し、人間社会の多様性の理解を深めます。

メディア論では、TV、新聞、ラジオ、コンピュータ、スマートフォン、インターネット、ソーシャル・メディアなど、私たちの身の回りにあふれる様々なメディアと、それが伝える表現や文化を捉え直し、多様なメディア実践——取材活動や作品制作を通じて、現代社会で生きることのリアリティを探究していきます。

社会文化学プログラムで学べること

- 現代社会における市民運動
- 新潟の暮らしと伝承
- 古代エジプト人とフェニキア人の歴史
- 朝鮮家族史研究
- ジェンダーの社会学
- 日本とアジアの考古学と文化
- 西洋美術史
- インターネット・モバイル社会
- 学習と教育の人類学
- 戦国期の地域と権力構造
- 現代アメリカの民主主義思想
- 今日の映像文化
- 絵図を考える・絵図から考える
- 日本近世の地域と交流
- 中国の国家と社会の変化
- ポピュラー音楽研究
- 日本の歌舞音楽
- 20世紀日本社会の歴史を多角的に考える
- 日本とアジアの関係史

教員からのメッセージ



地理学から何がみえるか

堀 健彦 教授

HORI Takehiko

2022年から、高校で地理総合が必修化されました。そのためか、近年、地理学者による、地理学に親しむための図書が多数、出版されており、みなさんの中には、その中の1冊を手にとったことがある方もいらっしゃるかもしれません。

地理学の社会的認知度の高まりとともに、地理学はどのようなことをする学問か、という問いがしばしば、私のもとにも寄せられるようになりました。

実は、この質問に正確に答えることは、案外難しく、地理学者が100人いたら、100通りとは言わないものの、50通りぐらいの答えが返ってきて不思議ではないほど、人によって考えにバラツキがあります。

例えば、上に掲げた写真は飛行機の窓から奈良盆地を撮影したのですが、ある地理学者は、整然とした水田の形状に注目して、古代の条里に由来する地割が、いかにして現代まで存続してきたかを論じています。

別の地理学者は、郊外の道路沿いに大型のショッピングセンターが広がっている様子に注目し、この地域の商品購買行動のパターンに思いを寄せたり、統計データと照らし合わせて大阪大都市圏の拡大の現れを捕捉しようとしたりするかもしれません。

また、別の地理学者はため池の分布に目を留めて、この地域の気候や、灌漑体系について調べたり、干害や水害といった災害のリスクを見積もったりするでしょう。

このように、ある意味何でもありな状況を見ると、雑然とした学問であるという印象になるかもしれませんが、見方を変えると、地理学では、己の関心に従って自由にあらゆる領野を横断し、さらには文系理系両方にまたがる隣接分野も含めて、つないでいくような在り方を許容されているととらえることができるでしょう。

高校までの地理と大学での地理学は、近い関係にありますが、必ずしもイコールではありません。高校の地理のイメージだけにとらわれることなく、自由に、自分らしい地理学の在り方を探す旅に出かけてみませんか。



史料のなかに生きる人びと

山内 民博 教授

YAMAUCHI Tamihiro

歴史学を学んでいると、いろいろな史料にであいます。最近、ある史料を読んでいると「夫妻流離乞食」とか「丐乞女率其一子一女」といった文字が目に入ってきました。この史料は19世紀前半の韓国の訴訟文書で、「丐乞」は「かいきつ」と読み、乞食のことです。

書かれている事情は入り組んでいるのですが、どうやら大きな飢饉のために食べる物のなくなってしまった家族——両親と9歳の男の子と5歳の女の子の4人家族です——が村を離れて「流離乞食」することになりました。ところが、父親は途中で餓死してしまい、母親はたどりついた村のある両班（韓国語でヤンバンといい、有力者のこと）の家を頼り食料を分けてもらいます。道ばたに草をかぶせただけで置いてきた夫の遺体が気がかりだった彼女は、さらにその両班に埋葬の費用を出してもらえないかと頼みます。すると両班は、将来彼の家で彼女の子もたちを使役することを条件にお金を出しました。もう少しわかりやすくいうと、母親は夫を埋葬するため子どもを売ったということになります。その後、彼女は子どもたちを置いてその家を離れ別な村で再婚しますが、子どもたちを完全に見すててしまったわけではなかったようで、10年あまりたって彼らを両班の家から連れ出すことに成功します。

込み入った話をしてきましたが、実はこの史料は、子どもたちを使役していた両班の側が、連れ去られた彼らを取り返してほしいと地方の役所に訴えた文書です。ですから、子どもたちに逃げられた側の視点で書かれており、内容をそのまま信じるわけにはいきません。とはいえ、「丐乞」とよばれた貧しい人びとの行動・家族関係・社会関係などが具体的に浮かびあがってくる史料でもあります。このように史料にふれ、そのなかに生きている人びとにであい、また、そこから生まれる疑問に向きあう。大学で歴史を学ぶなかで、みなさんもきっとそうした体験をしていくことでしょう。

教員紹介

青木 要祐 (アオキ ヨウスケ)

AOKI Yosuke

助教 考古学

子供のころから歴史に興味がありましたが、考古学では文献ではなくモノが対象となる、と高校生の頃に知りました。以来、考古学を学び、約2万年前の後期旧石器時代を中心として、過去の人類が作ったり使ったりしたモノ(石器)をもとに当時の生活を研究しています。石器の顕微鏡観察や科学分析など、一見すると人文学部とは思えないような手法が関わるのも考古学の魅力の一つです。実習ではフィールドワークの一環として発掘調査も実施しています。

加賀谷 真梨 (カガヤ マリ)

KAGAYA Mari

准教授 民俗学・博物館学

民俗学の立場から、沖縄県八重山諸島で研究を行ってきました。なぜある島では現在まで数多くの祭りが簡略化されなく執り行われているのだろうか。別の島では体の弱い子どもに「親をつけた」ようにだけ、それにはどのような意味があったのだろうか。それぞれの島で出会う「驚き」と「疑問」を手がかりに、島社会の仕組みと人々の行為実践の背景にある考えを明らかにすべく研究を行っています。

古賀 豊 (コガ ユタカ)

KOGA Yutaka

准教授 メディア論

メディア論を専門としています。近代以降の社会は、印刷、写真、映画、TV、コンピュータ、インターネットといった様々なメディアの登場により、それまでの社会と比べて大きな変容を遂げています。今日、その変容の速度はますます増加し、我々の生活のあり方そのものを変えてしまうかのようです。このような時代は、ある意味では、たいへん興味深く、面白いものです。現代という時代の意味を、皆さんといっしょに考えていきたいと思えます。

杉原 名穂子 (スギハラ ナホコ)

SUGIHARA Nahoko

准教授 ジェンダー論

家族社会学、教育社会学、ジェンダー論を専門としています。女性と男性でどのような違いがあるのか、進学先や就職先の決定、子どもの教育に家族が及ぼす影響について研究しています。家族のあり方や子どもの進路選択は地域によっても違いますが、新潟県と首都圏との違いに主に焦点をあてて調査を行っています。近年、格差社会ということが話題になっていますが、子どもや親が抱く希望や意欲のあり方についても注目しています。

高橋 秀樹 (タカハシ ヒデキ)

TAKAHASHI Hideki

教授 西洋古代史・西洋古典学

西洋の古代や中世を研究しています。今年の授業で取り上げているのは、古代エジプトの歴史・文化・神話、古代ギリシアの歴史・文化・神話、中世の英雄伝説(アーサー王、ローラン、エル・シッド他)、ケルト文化などです。古い時代の歴史や文化は、まだまだ謎が多く、新しい発見や研究方法によってこれまでの研究が大きく変わることがある、エキサイティングな分野です。この面白さを多くの学生諸君に伝えたいと思っています。

中村 隆志 (ナカムラ タカシ)

NAKAMURA Takashi

教授 情報メディア論

今、ケータイによる人々のコミュニケーションと、ケータイが作り出す様々な文化と広告について研究しています。多くの人がケータイを持っていますが、その歴史はまだ浅く、逆に言えば、我々の日常生活や人とのつながり方を今まで以上に変えていく可能性を秘めています。最も身近にあるケータイを通して、広い世界や社会、文化を研究・考察していく道が皆さんの前に広がっているのです。共に進めることを願っています。

伊藤 嘉高 (イトウ ヒロタカ)

ITO Hirotaka

准教授 地域社会学

「自己責任」の名の下、格差や孤立が広がる今日において、私たちが「共生」し、助け合うことは困難になる一方で、人びとが集まれば自然に社会(助け合いの単位)が生まれるわけではありません。むしろ、課題を共有し、課題をともに解決する動きから共生の意識が生まれます。そうした共生の意識を生み出す場としての地域社会の可能性を追求するために、私は、防犯、防災、医療などのさまざまな分野で調査研究を行っています。

片桐 昭彦 (カタギリ アキヒコ)

KATAGIRI Akihiko

准教授 日本中世史

日本中世史のなかでも戦国時代の権力と文書について研究しています。具体的には、上杉謙信や武田信玄などの印判状・感状・制札がどのように発給され機能したのか、またその意義を探ることにより地域権力の構造や特質を考えています。授業では、文書に限らず日記や年代記、金石文など様々な中世の文献史料を読み解くとともに、考古・地理・民俗学などの成果に学びフィールドワークも取り入れていこうと思っています。

白石 典之 (シライシ ノリユキ)

SHIRAIISHI Noriyuki

教授 考古学

今から800年ほど前、ユーラシア大陸の東西にまたがる巨大国家となったモンゴル帝国と、その建国者チンギス・ハンについて考古学から研究しています。なぜ強大な国が誕生したのか、チンギス・ハンとはどういう人物か、いまだ謎に包まれています。それは文字資料(史料)にウソや誇張が多いからです。そこで私は、彼の宮殿跡や武器工房跡を発掘し、出土した遺構や遺物など物質資料(モノ)から、その謎に実証的に迫っています。

園田 浩司 (ソノダ コウジ)

SONODA Koji

准教授 文化人類学

アフリカ熱帯雨林に暮らすカメルーン狩猟採集社会バカBakaの人々を対象に、フィールドワークを行ってきました。狩猟採集社会は、老若男女問わず、みな平等で対等な社会だと言われます。バカの子もたちは、日常生活を通してそれをどのようにして学んでいるのか。それが私の問いです。文化人類学は、相手の視点に立って世界を捉えなおす学問です。ぜひ、世界の人の様々な生き方に触れてみてください。

高橋 康浩 (タカハシ ヤスヒロ)

TAKAHASHI Yasuhiro

准教授 西欧政治思想史

専門は西欧政治思想史、アメリカ思想史。キリスト教神学思想史にも関心があり、アメリカにおける宗教と政治の関係、現代民主主義の政治理論を中心に研究をしています。演習においては、アメリカ史を舞台に上記のテーマや、戦争と平和といった政治外交上のテーマ、人種問題などのアメリカ国内のテーマについても考察の対象にしていきたいと考えています。

中村 元 (ナカムラ モト)

NAKAMURA Moto

教授 日本近現代史

日本近現代史の中でも特に都市史を専門としています。これまでは主として20世紀前半期の大都市周辺の都市における空間的・政治的・社会的変化の相互関係に注目し、近代日本における都市形成と「デモクラシー」の関係を研究してきました。今後は時間的には20世紀後半期、空間的には都市周辺の農村にも視野を広げつつ、人々の社会におけるリアルな在り方に即して日本近現代史の全体像を見通す方法について、皆さんと考えていきたいと思っています。

教員紹介

中本 真人 (ナカモト マサト) NAKAMOTO Masato
准教授 芸能論

日本の古代から中世にかけての芸能を中心に研究しています。古代から近世までの貴族たちは、和歌や書だけでなく、音楽や舞を中心に芸能にも通じていることが求められていました。貴族たちの芸能は、具体的にどのようなものだったのでしょうか。また彼らは、誰から、どのような方法で芸能を学んだのでしょうか。絵画や彫刻、文学などとは異なり、過去の芸能は一切形に残りません。その形に残らない芸能について、過去の文献と現代の芸能実演の両方を調査することにより、具体的に明らかにしたいと試んでいます。

広川 佐保 (ヒロカワ サホ) HIROKAWA Saho
教授 中国近現代史

20世紀初頭の中国東北やモンゴル地域の歴史、そして日本とアジア関係史について研究しています。中国やモンゴル、台湾の史料館で史料を探索し、歴史の舞台を自らの足で歩くことに努めています。そうすることで史料と現在の人々の暮らしがつながり、今日的な問題を考えるきっかけにもなります。大学では近現代のアジア史関係の書籍や資料を通読していますが、教室を飛び出してフィールドを歩くことをすすめています。アジア近現代史には、まだ研究されていない分野が多く残されています。皆さんのオリジナルな研究や発見を期待しています。

堀 健彦 (ホリ タケヒコ) HORI Takehiko
教授 人文地理学

人文地理学の中でも、歴史的な側面を重視しながら地理事象を考察する歴史地理学が専門です。最近では、明治期に作製された地籍図という資料を使って、歴史的な景観を精緻に復原する作業を佐渡島で行っています。また、近世会津藩が作成した「新編会津風土記」に記されている地理情報についてもGISを活用して分析を進めています。細かな作業の積み重ねですが、それらが組み上がって全体像が徐々に見えてくるのが醍醐味です。

村上 正和 (ムラカミ マサカズ) MURAKAMI Masakazu
准教授 中国近世史

17世紀から19世紀にかけての中国の都市社会史・文化史を研究しています。特に伝統中国の人々が持っていた価値観や心性、社会の中で生き抜こうとしたその試行錯誤の軌跡をたどることに関心があります。授業では中国や台湾で調査した清代の文書史料のほか、絵画や小説、演劇・芸能作品も幅広く取り上げます。様々な史料に触れて自分の常識がゆらいでいく驚きと、中国について考えていく楽しさを皆さんと共有できればと思っています。

山内 民博 (ヤマウチ タミヒロ) YAMAUCHI Tamihiro
教授 韓国・朝鮮史

韓国の田舎をまわりながら、朝鮮王朝時代の社会について研究しています。授業では、古代の新羅・高句麗・百済から現代の韓国・北朝鮮まで、家族や村落、国際関係など様々な面から朝鮮社会の歴史的な性格を追求していきます。古くから中国・日本と密接な交流関係をもちつつ、独自の世界を形成してきた朝鮮半島の歴史を学ぶことは、新たな視点から東アジアや日本について考える契機にもなることでしょう。

原 直史 (ハラ ナオフミ) HARA Naofumi
教授 日本近世史

江戸時代の都市や商品流通を主な研究対象にしており、地域社会の構造と変容に大きな関心を持っています。「近世」という時代は日本列島において、ウェスタン・インパクト以前の伝統的な社会が最も成熟した時代であり、その時代を探ることは、私たちの現在と未来を考えるうえでとても重要な意味を持つと考えています。授業ではしたがって、こうした近世社会を多様な角度から検討しようと考えています。

細田 あや子 (ホソダ アヤコ) HOSODA Ayako
教授 西洋中世史・西洋美術史

ヨーロッパ中世の文化史に関心を持ち、とくに美術作品とキリスト教文化との関係を探っています。生と死、天国と地獄、天使と悪魔、聖杯の謎など、怪しげなものにひかれ、それらがどのように表現されているのかを考察中です。授業では、ロマネスクの素朴な聖母マリアさまの彫刻から、ゴシック期の大聖堂建築、ルネサンスの巨匠たちやフェルメールやレンブラント、さらに近現代の芸術家まで視野をひろげつつ、学生とともに美術史の面白さを学んでいます。

松井 克浩 (マツイ カツヒロ) MATSUI Katsuhiko
教授 社会学理論・災害社会学

個人の自由を支えるような人と人とのつながりは、どうすれば可能になるのか。それを理論研究と地域研究の両面から考えています。理論の方は、M・ヴェーバーをもとに、権力や秩序、コミュニケーションを成り立たせるメカニズムについて研究しています。地域研究では、中越地震・中越沖地震の被災者・被災コミュニティを調査して、被災地の再生や災害に強い地域社会のあり方、災害ボランティアの役割などについて考えています。

森 貴教 (モリ タカノリ) MORI Takanori
准教授 考古学

専門は考古学で、朝鮮半島から日本海沿岸を主な対象地域として弥生時代とその並行期の研究をしています。稲作や鉄器の導入が当時の人々の暮らしや交流のあり方にどのような影響をもたらしたか、考察を深めています。最近では、弥生時代の終わり頃の高地性集落遺跡の発掘調査によって、『魏志』倭人伝に記された「倭国乱(わこくみだれる)」とは何かを追究しています。フィールドで、オリジナルな発見の喜びを伝えられたらと思います。

学生の声

▶ 演劇と社会学 菅藤 駿介 社会学4年

社会学は社会に存在するあらゆる事象を調査、研究、解明できる学問です。一例を上げると私は大学で演劇研究部に所属していますが、この演劇という題材についても様々な観点から研究可能です。演目に内包された社会的背景や劇団内での人間関係については言うまでもなく、逆に、演劇の観点から私達の日常生活を研究することもできます。社会学には「役割演技」という言葉があります。私達は社会で生活する上で日々他者から何かしらの役割を期待されながら生きています。家族の中では子供として、学校では生徒として、部活では先輩や後輩として、アルバイト先ではアルバイトとしてというように私達は常に何かしらの役を演じながら生活しているとも言えます。つまり、演技によって社会の秩序が成り立っているのです。このように社会学は周囲のあらゆるものから研究の題材を決めることができます。そんな社会学をみなさんも一緒に学んでみませんか？



▶ 考古学のイメージと現実 岩井 冠 考古学2年

皆さんは考古学についてどのようなイメージを持っていますか？ 考古学とは単に遺跡を発掘するだけではなく、その結果をもとに当時の人類の生活を研究する学問です。私自身高校生までは間違った認識をしていましたが、実は「恐竜」を代表とした古生物は考古学の対象外なのです！ 実際に大学では実習として新潟県内外の遺跡発掘を経験します。発掘調査は新潟大学の先輩方、さらには他大学の学生とも協力し、会話を楽しみながら行うため、互いの関係が深まる良い機会にもなります。さらに出土した遺物や調査成果の整理によって研究方法を学び、卒業論文に繋げていきます。全員が大学から考古学を学び始めるため予備知識などは全く必要ありませんので、少しでも興味のある方は私たちと共に学んでみませんか？



▶ メディアの裏側が見えてくる！ 田村 優衣 メディア論4年

皆さんは大学生になって、こんなことを学んでみたい！という思いはありますか？ 大学生になると、自分自身で自由に選択ができる分、何を専攻しようか迷うのではないかと思います。そんな中で、私は身近な存在であるメディアについて、もっと知ってみたいと思いました。実際の授業では、今まで見る側でしかなかったMVを制作する授業がありました。普段見る3分程に凝縮されているMVは、こんなにたくさんの時間と労力がかかっているのだと、それまで何気なく見ていたMVの捉え方が変化しました。また、皆さんが毎日のように目にする広告についても、その理論を学び探究することができます。メディア論は幅広い分野をカバーしているため、自分の興味があることを学びやすい分野だと思います。身近なメディアのことが少しでも気になったら、一緒にメディアを学んでその裏側を知ってみませんか。



▶ 歴史学を学ぶ 神山 明遵 日本史3年

大学で歴史を学ぶと聞いて、何を想起するでしょうか？ 高校よりも詳細な歴史を学ぶのでしょうか。大学で歴史を学ぶとは、歴史学を学ぶことであり、それは史料に基づいて、新たな歴史の見方を示す術を学ぶということです。歴史の存在を裏付ける史料に直接触れること、これが高校までとの違いであり、楽しさでもあります。史料の読解には困難もあり、断片的な史料の解読は苦労します。しかし、種々の史料の分析や比較を経て、過去の事象や人物の在り方を捉えられたとき、その感慨は大きいものです。また、歴史学を学ぶとは、「歴史」とは何かを考えることでもあります。「歴史」が自明のものではないと知ったとき、今まで学んできた歴史に対し新たな見方ができるはずで、歴史が好きな人はもちろん、今興味をもった人も、ぜひ歴史学を学んでみてください。





教員からのメッセージ



日本語学を学ぶ仲間たち

日本語のすがたを、ありのままに —日本語(学)とは何か—
三ッ井 正孝 准教授 MITSUI Masataka

日本語は私たちにとって最も身近な言葉です。それだけに何でも知っている気になり、裏付けのない感覚的な態度で向き合いがちです。例えば「全然」を肯定文で使う「全然大丈夫」という言い方。ある人は「これは言葉の乱れ。「全然」は否定文で使うべき」と非難し、ある人は「言葉は生きているから変わるのだから」と擁護します。しかし、どちらの態度も支持できません。なぜなら、どちらも事実を正確に捉えていないからです。日常「全然」を肯定文で使う人も、おいしい料理を食べ終わった後、「ああ全然おいしかった」とは言わないでしょう。現実に着定している言い方を「乱れ」と切り捨てる場合はもちろん、「乱れ」に寛容な立場であっても、こうした興味深い事実を見逃してしまいます。

いわゆる「言葉の乱れ」は実は言語変化の一段階という場合があります。この言語変化の譬えとして「言葉は生きている」という表現はたしかに絶妙ですが、単に「生きている」というだけでは思考停止にすぎません。「言葉は生きている」というなら、もう一歩進め「くどのように」生きているのか」と問うべきです。つまり、その言い方があらわれる場合を正確に把握し、次に、そのようなあらわれ方を理由を捉える必要があります。日本語学とは、このように事実を正確に把握、記述し、何故そうなっているのかを説明する学問です。

そして、記述と説明をすることは同時に、今まで見過ごしていた事実や、その事実を支える法則、体系を「発見」することでもあります。この「発見」は、「言葉の乱れ」のようないわば「変わり種」にばかりではなく、むしろごくありふれた言葉の中にこそたくさん潜んでいます。「雑草」という草がないように、レギュラー選手だけではチームは成立しないように、すべての語や文にはその存在理由があります。日本語のありのままの「生き様」を見つめることで、その存在理由の「発見」に立ち会えるところに、日本語学を学ぶ醍醐味があるのです。



中国語を旅する
干野 真一 准教授 HOSHINO Shinichi

私の研究分野は中国語の言語学です。中国語におけるものの考え方について探究します。中国語は漢字を使う言語ですから日本語との共通点も多くあります。しかし、一見同じようで実は異なる部分など、日々、面白い発見があります。私の研究テーマの一つに、中国語レアリア研究というのがあります。中国語圏で生活する人々が日常的に見たり聞いたりする中国語表現にはどのようなものがあるかについて考察します。例えば、COVID-19が流行していた時期の標語に「戴口罩, 勤洗手, 测体温, 勤消毒, 少聚集, 勤通风」。(マスクをつけて、こまめに手洗い、体温測って、こまめに消毒、集まり控えて、こまめに換気)というのがありました。おおよその意味を字面から感じ取れるのも中国語ならではの3文字が連続するリズムの中、「勤」という文字が絶妙なアクセントになっているのが感じ取れます。「少聚集」の「少」は本来「少ない」という意味の形容詞ですが、ここでは「聚集」(集まる)という動詞の前で連用修飾語として用いられ「少なめに、控えめに」という意味を表し、延いては「婉曲的な禁止(集まらないように)」を表しています。ほかにも、「同舟共济, 共渡难关(同じ船の者が助け合い、共に難局を乗り切ろう)」という標語も見られました。「同舟共济」とは日本語で言う「吳越同舟」のことで、社会啓発の標語に故事成語が出てくるのもいかにも中国語らしい点です。日本語では「敵対する者同士が一緒にいる」という意味の印象が強い言葉ですが、中国語では「共济」(共に助け合う)という言葉がある通り「共通の目標で協力すること」という意味で用いられます。もともと一つの故事から出た表現であっても、中国語と日本語で解釈の焦点に違いがあることが分かります。中国語を旅する楽しみは、このような簡潔な表現が一つ一つどのような文法で組み立てられて活き活きとした言葉として成立しており、それがどのように読み手に伝わるのか、その一連のプロセスを丹念に観察するところにあると思います。

言語文化学

Languages and Cultures

学位プログラム

- ▶ 日本語学・日本文学
- ▶ アメリカ文学・文化
- ▶ ロシア文学・文化
- ▶ 中国語学・中国文学
- ▶ 英語学
- ▶ 言語学
- ▶ 朝鮮語・朝鮮文学
- ▶ ドイツ文学・文化
- ▶ イギリス文学・文化
- ▶ フランス文学・文化

言語文化の学びが誘う多様性の世界

言語文化学の学習・研究領域は多岐にわたります。言語学は言語そのものの不思議を深く学び研究します。文学は文学作品を読みこみ作者の意図と作品の意味を探ります。文化学は文学以外の様々な文化現象を考察し理解を深めます。

言語文化学プログラム

日本、中国、朝鮮、イギリス、アメリカ、ドイツ、フランス、ロシアの言語・文学・文化を専門的に学び、高い言語運用能力を身につけるとともに、鋭い言語感覚と豊かな表現能力を養います。

言語分野では、言語表現の音声、形態、意味、構造、用法などの規則性・法則性の考察を進め、さらに、言語の歴史的变化や普遍性・個性性などの奥深さを理解します。そして、文学分野では、古代から現代まで生み出されてきた詩歌や劇、物語、小説などの文学作品を研究し、人間の優れた叡智に触れ、普遍的諸問題についての考察を深めます。また、文化分野では、芸術、歴史、社会の変

動など、幅広い文化的事象に関して知識を拡げ、多角的な視野と分析的思考の陶冶をはかります。

本プログラムでは、異なる言語・文学・文化を横断的に探求し、総合的に把握することによって、多様な価値観が存在する国際社会の中で生きていく柔軟な思考力を伸ばし、協働的な行動力を身につけることができます。言語文化研究の専門性は、国語科および外国語科の教育、日本文化の世界への発信、外国の文化の翻訳や通訳など、国際社会で活躍する人材がますます求められる官公庁や民間企業で活躍するためにも活かしていくことができます。

言語文化学プログラムで学べること

- 人間言語のしくみを解明する
- 近現代日本語における音声・語彙・文法の姿
- イギリス近代小説の読解と分析方法
- フランス文学・芸術作品の解釈
- 語や文の組み立て方の法則性
- 日本語の変化・変遷
- 英語の発音の規則性
- 近代フランス小説や詩の分析方法
- 日本の近現代文学と時代背景
- 中国語の歴史的变化
- 英語と日本語の比較研究
- 近現代ロシアの文化・芸術
- 「源氏物語」などの王朝物語の世界
- 中国近代以前の文学史と作品の読解
- 英語で書かれた詩の読解
- 日本の古典をくし字で読み調査する技術
- 朝鮮半島および在日朝鮮人の言葉と文学
- 近現代ドイツの文化・思想

教員からのメッセージ



大学でブンガクを学ぶということ

平野 幸彦 准教授 HIRANO Yukihiko

「ブンガクなんてただ愉しめばいいじゃん。わざわざ大学まで来てブンガクを学ぶなんて……」こんな声が将来の学生諸君から聞こえてきそうです。それに対し、われわれ教員は「人間性を陶冶する」だとか「感受性を豊かにする」だとか「想像力を鍛える」などといった、もっともらしい答え——じっさい間違っていないのですが——でやり過ごすことが多いのですが、ここでは違った角度から「ブンガクの効用」について考えてみましょう。

まず、ブンガク(文学研究)は具体的に何をするかというと、おもに作品や作家に関して、未解決の問題に答えを出したり、従来正解とされてきた説に対し異議を申し立て、新たな主張を展開したりするといったことを行います。そのためにはまず、(1)その作品や作家について、これまでになされてきた研究業績を調査・分析し、どこが不十分なのか、あるいはどこが適切でないのかを検討する必要があります。そしてそのうえで、(2)自分ならではの主張を組み立て、(3)他の誰もか納得できるような論理的な議論でそれを提示するわけですが、以上3つのプロセスは、ひとり文学研究のみならず、あらゆる分野——研究職はもちろん、営業職の会社員だろうと公務員だろうと——の知的活動に応用できるものです(もっと言うなら、理系のそれとも本質的には異ならないことに気づかれるでしょう)。

また、文学研究では「テキスト」(ここではとりあえず「文字表現」と理解してください)を分析します。たとえば「このテキストを語っているのは誰か?」と問うてみると、「そんなの筆者に決まっているじゃない」と言われるかもしれませんが、ことはそんなに単純ではありません。ここでは詳しい議論は省きますが、語り手は筆者であるとは限らない。というかむしろ、たとえ一人称(「私は」)で語っていたとしても、筆者と同じではあり得ないのです。文学研究ではそのことが端的に表れている詩や小説を扱う場合が多いのですが、同じ理屈は文学以外のあらゆるテキスト——たとえばドキュメンタリーや報道記事のたぐい——にも当てはまります。

かくして、何かと「役に立たない」と非難されることの多いブンガクですが、じつはすこぶる実用的な学問分野なのです。



ドイツ語という船で未知の海に乗り出す

アンニャ・ホップ 准教授 Anja HOPF

私はドイツ言語文化分野でドイツ語教育を担当しています。「ドイツ語は難しそう」とよく言われます。しかしドイツ語は文法が複雑な一方、発音はアルファベットの規則通りでOKですし、さらには言いたいことを論理的に表現することができます。もちろん、詩的でウィットに富んだかたちで表現することも可能です。ドイツ語の面白い例をいくつか見てみましょう。咳払いをする直前の様子は「喉にカエルがいる」(einen Frosch im Hals haben)、目の前にあるものを見落としていることは「目にトマトが置いてある」(Tomaten auf den Augen haben) などなど。また、ホームシック(Heimweh)の反対語にあたるFernweh(遠くまで行きたい、強い憧れの気持ち)のように、日本語や英語にはないドイツ語独自の美しい表現もたくさんあります。日本語学習歴が長い私は、こうしたドイツ語の表現をみなさんにどうしたらわかりやすく、そして楽しく教えることができるのかを試行錯誤するのが大好きです。

ドイツ語は大学1年生で基礎のABCから勉強するわけですが、私自身の外国語学習の経験を積極的に教授法に取り入れています。また、楽しむことがもっとも高い学習効果をもたらすことが外国語教育学の見地からも明らかですので、学生が楽しめる授業を第一に考えています。1年生の授業ではドイツ語で俳句を書いたり、3年生の授業では全編ドイツ語の短編映画を撮影したり、ドイツ語を勉強するだけでなく、ドイツ語で作品を作るという実践も大切にしています。

ドイツ言語文化分野は小さな分野ですが、ドイツ語圏にまつわる文学・思想・文化を幅広く勉強できます。その基礎になるのがドイツ語学習です。学生それぞれの興味分野に必要な語彙や文法、そして文化に関わる知識をオーダーメイドの形で示すことが私の役割です。

みなさんと一緒に、計り知れないほど深く、鳥肌が立つほど美しく、たまにゲラゲラ笑えるほど可笑しいドイツ語・ドイツ文化の海を冒険できることを楽しみにしています。

教員紹介

秋 孝道 (アキ タカミチ)

AKI Takamichi

准教授 英語学

理論言語学(生成文法理論)に基づいて、英語の文・句の構造に関する仕組み(統語論)や、英語の文・句の意味に関する仕組み(意味論)を解明する研究を行っています。また、英語と日本語の構造・意味の比較研究も行っています。しっかりした言語理論を想定して言語の研究を進めて行く、「予測された事実が実際に存在する」ことを体験できることがあります。この「発見の興奮」を体験させてあげたいと思います。

市橋 孝道 (イチハシ タカミチ)

ICHIHASHI Takamichi

准教授 イギリス文学・イギリス文化

19世紀中頃に活躍したイギリスの文豪サッカレーとディケンズの作品を中心に、ヴィクトリア朝時代の文化全般についての研究も進めています。二人の作家は大英帝国の繁栄を様々な角度から描いており、類似点もあれば興味深い相違点も多く見受けられます。近代文明の基礎が築かれていく時代に創作された彼らの作品には、そうした社会や文化に対する人間の詳細な心理を読み取ることができ、現代の私たちにも通じる部分があります。

大竹 芳夫 (オオタケ ヨシオ)

OTAKE Yoshio

教授 英語学

「こぼは文化の乗り物、心の鏡」であると言われる。英語ということばには英語話者の文化や発想が映し出されます。授業では、英語に特有の仕組みを観察しながら、英語話者の生き生きとした感覚や発想、異文化と自文化の価値の多様性、そして人間の心の働きとことばの仕組みの結びつきを探索します。また、応用言語学的見地から、言語理論と英語教育との接点についても考えます。最新の言語学や英語教育の研究成果を、わかりやすく、深く、面白く皆さんに伝えることを心がけています。

小島 明子 (コジマ アキコ)

KOJIMA Akiko

准教授 中国文学

中国清末の文学と周辺の文化背景に興味をもち、特に王国維の詩・詞・文学論と「教育世界」という雑誌について研究しています。授業では中高では学ばない中国文学に着目し、研究する上で基礎となる資料を、古典を中心に幅広く選定し、精読を行い、読解力を養う訓練を行っています。しかし、授業は一つのきっかけにすぎません。大学の学問はここから始まります。これを機にたくさんの作品に触れ、自ら世界を広げていってください。

高橋 早苗 (タカハシ サナエ)

TAKAHASHI Sanae

准教授 日本中古文

平安時代に創り出された「源氏物語」や「夜の寝宴」などを中心に、王朝物語の世界について日々考えています。「豪華絢爛」といった言葉が付与されがちな王朝物語ですが、その華やかなイメージとは裏腹に、多くの作品に「憂愁の思い」が深く織り込まれているところに心惹かれます。授業では、上記以外の作品も取り扱います。テキストの表現一つ一つを吟味したうえで、各人それぞれの「読み」を提示してもらいたいと思っています。

津森 圭一 (ツモリ ケイイチ)

TSUMORI Keiichi

教授 フランス文学

『失われた時を求めて』の作者として知られるマルセル・ブルーストの研究をしています。ブルーストが作品中で「風景」をどう描写しているかというテーマに取り組んでいるうちに、「風景」とはそもそも何か、という問題に関心が広がっていききました。授業では、「風景」を表現する手段である「文学」、「庭園」、「建築」、「絵画」、以上4つの領域をめぐって、皆さんと意見交換できることを期待しています。

磯貝 淳一 (イソガイ ジュンイチ)

ISOGAI Junichi

教授 古代日本語論

古代から近世に至る日本語の実態と変遷を「なま」の言語資料を用いて解明します。同じ「古典」でも、活字と古写本とでは知り得る情報に大きな違いがあります。読みやすさを手にする一方で、私たちは古典との断絶にも向き合っているのです。「なま」の資料の一字一字を辿ることは、過去の「今・ここ」、即ち音韻・表記・語彙・文法が当時の書き手達の「息づかい」と共にあった状況をリアルに追体験することにほかならないと私は考えています。

江畑 冬生 (エバタ フユキ)

EBATA Fuyuki

教授 言語学・言語類型論

研究対象は言語です。言語は物ではないので、実際に手にとって調べるわけにはいきません。人間の言語活動を観察する必要があります。人間が意思を相手に伝える際、言語が手段になります。物理的には音声を用いられます。音声対話者の耳に入り意味として理解されたときにはじめて、伝達が成立します。発した瞬間に消えてしまう音声と、客観的に捉える事が難しい意味、ある種つかみどころのない音声と意味を、なんとか科学的に解明しようとするのが言語学です。言語は我々にとって身近すぎる存在ですが、ふだん意識されないその構造には驚くべき緻密さが見られるのです。

北田 伸一 (キタダ シンイチ)

KITADA Shinichi

准教授 英語学

生成文法理論という理論的枠組みに基づいて統語論の研究をしています。具体的には、英語や日本語などの個別言語の間に観察される変異や、同じ英語であってもイギリス英語とアメリカ英語の間に変異が観察されますが、これらの変異がどのような仕組みによって生じているのかに興味をもって研究をしています。また、こうした言語間変異の仕組みから抽出される普遍的な言語一般の特性の解明にも関心を持って研究をしています。

鈴木 正美 (スズキ マサミ)

SUZUKI Masami

教授 ロシア文学・ロシア文化

現代ロシアの詩、芸術、音楽が主な研究対象です。どのジャンルも密接に関連しており、日々新たな表現が生まれています。多彩な作品や表現を毎日追う毎日には刺激に満ちていて、決してあきることはありません。どんなにつらいことがあっても酒とジョークで笑い飛ばし、芸術にどっぷり浸り、人生を最大限に楽しむのがロシア流なのです。哲学的な文学や難解な現代芸術作品から心躍るジャズやロックまで、幅広くロシア文化に関する授業を行っています。

田邊 恵子 (タナベ ケイコ)

TANABE Keiko

准教授 ドイツ文学

戦間期ドイツで多彩な執筆活動を展開した文筆家ヴァルター・ベンヤミンの作品が専門です。とくに彼の亡命期の思想に着目して研究を進めています。さらに最近ではベンヤミンから発して、「故郷」「過去の思い出」「子ども」といったキーワードのもとで19世紀～20世紀のドイツ文学・思想を考察しています。過去の言説を読み解くことは、現在や未来を思考するために自分独自のまなざしを得ることに繋がります。新たな出会いに溢れるドイツ文学の世界と一緒に探検しましょう!

長沼 光彦 (ナガヌマ ミツヒコ)

NAGANUMA Mitsuhiro

教授 日本近現代文学

明治時代以降の日本近現代文学を対象として、同時代の思潮や風俗との関係を研究しています。例えば、明治時代の夏目漱石「三四郎」を読むと、主人公の大学生活は今と変わらないように思えます。一方で、その恋愛や世の中に対する考え方は、今と少し異なるようです。過去の文学には、現代に通じる面と、その時代特有の価値観を反映した面があります。共感しながらも、その時代特有の思潮や風俗を知ることで、文学の読解をより深めることができます。

教員紹介

グレゴリー・ハドリー

Gregory HADLEY

教授 英語教育の社会学

21世紀のグローバル新自由主義の社会の中、学生をグローバル市場や企業の課題に対応させることが求められています。しかし、学生の知性を鋭くし、自分自身とは異なる人々や社会に対する見方を洗練させることのほうがより重要だと信じています。そのようなスキルを身につけた卒業生は地域社会と国際社会の両方に多大な貢献をします。このような信念のもと教育研究を行ってまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

廣部 俊也

(ヒロベ シュンヤ)

HIROBE Shunya

准教授 日本近世文学

江戸時代は「文学」の意味がもっとも揺れた時代だったと言えます。本格的な古典文学は過去のものであり、西洋的な近代文学は到来していない時代。別の見方をすれば、堅苦しく考えず、資格も問わずに誰もが気楽に文芸に参加できた時代なのかもしれません。結果、現在の私たちが「日本的」と感じるものの多くがこの時代に形作られました。そういう自由な空気が好きで、戯作・俳諧・歌舞伎・浮世絵などについて考えています。

アンニャ・ホップ

Anja HOPP

准教授 ドイツ語教育・ドイツ文化学・日本研究

外国語としてのドイツ語教育(DaF)の研究と実践を行なっています。コミュニケーションスキルズ(スピーキング、リスニング、ライティング)、長文読解、和独の翻訳はもちろん、CLIL(Content and Language Integrated Learning)の可能性にも興味を持っています。またドイツと日本の近現代における消費文化やアート、さらにはサブカルチャーを美術史/文化学的視点から考察しています。日本から見たドイツ、ドイツから見た日本のイメージの変遷にも関心を寄せています。ドイツ語の奥深さを学ぶことを通じて日独関係の意外な一面に触れてみませんか?

干野 真一

(ホシノ シンイチ)

HOSHINO Shinichi

准教授 中国語学

中国語学の授業を担当しています。口語彙彙の変遷、特に前置詞に関心があり、歴代の文学作品などに見られる用例をもとに考察しています。中国語を学び初めのころは、徹底して発音を体にしみ込ませ、音に対する反応を磨きましょう。文法を学ぶ際は、日本語や英語など、他の言語との違いにも目を向けてみましょう。言語表現には、その言語の世界の切り取り方が反映されていますから、中国語的なもの見方に迫ることが、学ぶ楽しさ、多様な価値観の修得につながります。

外国人教員

准教授 アジア文化

毎年、人文学部と交流協定のあるアジアのいろいろな大学の教員が、アジアの言語文化に関する講義や外国語の授業を担当しています。

平野 幸彦

(ヒラノ ユキヒコ)

HIRANO Yukihiro

准教授 アメリカ文学

19世紀前半のアメリカの作家エドガー・アラン・ポーを中心に研究を進めています。また、英語教育における文学作品の活用法や翻訳論などにも関心があります。文学を始め、芸術を学ぶ意義は、異なる時空に生を受けた人々の想像力が生み出した偉大な作品から、21世紀の日本に生きる我々固有の問題や、人間存在に普遍的なテーマを考えるための手がかりを得ることにあると思います。皆さんも、この汲めども尽くせぬ叡智の泉を探ってみませんか。

藤石 貴代

(フジシ タカヨ)

FUJISHI Takayo

准教授 朝鮮文学

日本では漢字が「真名」であり、漢字を書き崩して「仮名」ができましたが、ハングルは漢字や仮名とは制字原理を異にする表音文字です。朝鮮王朝4代目の国王、世宗の時代に、建国叙事詩「龍飛御天歌」を作るなど試行を経て公布されました。高麗時代から科学が行われた朝鮮では漢文こそが文章語でしたが、ハングルで詩歌が記録されるようになり、17世紀頃からハングル小説も登場します。辞書をひきひき一緒に読んで読んでみませんか。

逸見 龍生

(ヘンミ タツオ)

HEMMI Tatsuo

教授 フランス文学・思想

「光の世紀」と原語でいわれる新しい時代を求めたフランス18世紀の思想家たちの著作を主に研究しています。ゼミではフランス語文化のもつ魅力と興行きを幅広くとらえます。フランス語をしっかりと身につけたうえで、作家のこぼれの一つ一つを正確に読み解いたり、歴史に散歩したり、芸術に結晶されたその美意識や感受性をあじわう。その世界は万華鏡のように多様で、深みがあります。フランス語圏の社会や文化の世界にわけける楽しさ、ヨーロッパ、そして他の文明圏の伝統や現在と、精神的交流をする喜びを、ともに経験していきましょう。

三ツ井 正孝

(ミツイ マサタカ)

MITSUMI Masataka

准教授 現代日本語論

日本語(主に近現代語)を対象として、語彙や文法を中心に学んでいます。例えば、「壊す」には「壊れる」と、似た形の語があるのに、「食べる」にはない。これはなぜだろうか? 「文法について勉強する」と「文法を勉強する」とは何か違いがあるのだろうか? 「明治や大正の文章には、私たちの使わない言い方があらわれる。現代に至るまでにどんな変化をしたのだろうか?」そんなことを、日々、学生たちと考えています。

学生の声

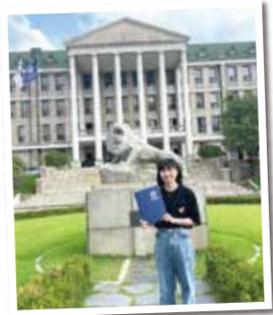
果てしなき日本文学の冒険 小林 愛弥 日本文学4年

みなさんは、近世文学作品をじっくりと読んだことはありますか? 教科書にもあまり載っていないので、馴染みのない人も多いと思います。しかし、一度近世文学の世界に踏み込んだら最後、その作品の多様性に魅了されてしまいます。恋愛ものからおとぎ話まで、幅広いジャンルの作品が存在し、文体や出版形態も様々です。近世文学ゼミでは、学期ごとに一つの作品を取り上げ、その物語の解釈について議論します。人によって多様な解釈が可能なので、全員が納得する答えは存在しません。しかし、それこそが文学を研究することの醍醐味です。明確な答えが存在しないゆえに、一生研究を楽しみ続けることができるのです。日本文学に興味のある方は、わたしたちと一緒に、終わりのない文学研究に踏み出してみましよう! 新潟大学人文学部でお待ちしております。



これまで知らないことは、これから知りたいこと 水落 一衣 朝鮮文学4年

私は中学生の頃から韓国の文化に興味がありました。地元の新潟大学に入学して初修外国語として朝鮮語を学び、4年生の今は、日本の和歌の韓国での受容について研究しています。ゼミではジャンル、時代ともに幅広い内容の作品に触れることができます。作品の時代背景や登場人物の考察もしますが、インターネットのブログなどその作品を読んだ韓国人の反応にも着目することで、作品に対する新しい視点をすることもできます。ある作家・作品を通じて歴史や文化についてもたくさん知ることができます。朝鮮は歴史的にみて日本と長く深い交流があり、影響を与えてきた国です。その共通点に注目するのよし、逆に異なる部分に注目するのよし。自分が興味を持った分野を、ゼミの仲間と一緒にとことん研究してみませんか?



英米文学の旅へ 吉田 陽太 英米文学4年

皆さんは英米文学を読んだことはあるでしょうか。シェイクスピアやヘミングウェイ、カズオ・イシグロなど有名な著者がたくさんいますが、英米文学のゼミではこのような作品を実際に原文で読み学んでいきます。高校までの英語とはひと味違い、テキストと一対一でひたむきに向き合うことで、原文でしか味わえない雰囲気や絶妙なニュアンスを感じることができます。実際に作品を読んでみるとその情報の濃さに驚かされます。花や虫が象徴する事柄、色の描写の意味、なぜあえてこの比喩表現を使うのか等々……必要のない文は一つもなく全てに意味があるのです。これらの表現を通して当時の文化、思想、風俗などを知り、頭の中に小説の世界を思い描く。教室に居たまま、さながらその世界へ旅する——これが文学の持つ素晴らしさの一つだと私は思っています。これを読んだあなたも英米文学の世界へ旅してみませんか。



楽しいドイツ文化 大平 歩 ドイツ言語文化学4年

ドイツ言語文化で扱う範囲は幅広いです。例えば授業では、ゲーテ、カフカの小説やグリム童話、アドルフの思想などをドイツ語で読解したり、パウル・クレー、ゲルハルト・リヒターといった芸術家の作品を鑑賞したり、ドイツ語でセリフを書いて短編映画をつくったり……こんなに自由で楽しいプログラムがほかにあるでしょうか。私は高校の倫理の授業で多くのドイツ人哲学者に興味を持ったことがきっかけでしたが、知れば知るほどおもしろい人物・作品が山ほど登場して、ますますハマっています。また、文化を学ぶうえで基礎となるドイツ語の勉強が面白く、留学生との交流や留学といった、今現在のドイツに関わる機会もたくさんあります。興味を持った方がいれば、ぜひドイツ語やドイツ文化の授業を取ってみてください!



私の時間割を教えます！

新大だからこそできる。広く、深い学び

社会文化学プログラム（社会学分野）2年 吉澤 駿佑

僕は、大学在学中に教職の習得を目指し、同時に公務員等、他のキャリアにも役立てられるような授業も履修しています。一見多忙に見えますが、日ごとにメリハリをつけた時間割を組むことでこれらを修め、その上趣味やバイト、友人たちとの付き合いも楽しめています。



第2セメスター（1年2学期）

時限	月	火	水	木	金
1		データサイエンス 総論I	データサイエンス 総論II		
2	SDGs入門	中国語インテンシブII	中国語インテンシブII	中国語インテンシブII	中国語インテンシブII
3		アカデミック英語入門L		アカデミック英語入門R	
4	トキをシンボルとした自然再生	歴史学Q	分野横断デザイン	トキをシンボルとした自然再生	歴史学Q
5		社会文化学入門B		社会文化学入門A	教育・学校心理学B

第3セメスター（2年1学期）

時限	月	火	水	木	金
1	生物学-植物A-		中級コミュニケーション英語	生物学-植物A-	
2		日本史概説		社会調査実習A	日本史概説
3			哲学概説		
4		健康スポーツ科学講義a	キャリアデザイン	社会学概説	社会調査法A
5		社会調査法B			

集中講義等…生徒指導B/教育相談・進路指導B/教育方法及び特別活動の指導法B/憲法II(統治機構論)

専攻と教職の両立

言語文化学プログラム（日本語学・日本文学分野）3年 菊地 遥香

日本語学・日本文学を専攻しながら国語の教員免許の取得を目指していますが、無理なく時間割を組むことができます。また、大学から初修外国語としてイタリア語を学び始めたのですが、面白かったので必修が終わってからも積極的に受講しています。



第4セメスター（2年2学期）

時限	月	火	水	木	金
1	博物館情報・メディア論	日本語文化実習B	日本古典文学N		
2			日本語文化実習D	国語科教育法(中等)II	
3	つながりと絆の社会学	日本語概説B	西洋カリグラフィーA 西洋カリグラフィーB	つながりと絆の社会学	イタリア語スタンダードIV
4	化学とSDGs	日本語文化基礎演習B	教育情報論	化学とSDGs	
5		日本文学概説A			

集中講義等…生徒指導B/教育相談・進路指導B/教育方法及び特別活動の指導法B

第5セメスター（3年1学期）

時限	月	火	水	木	金
1				日本文学概説C	
2		日本史概説		教育学概論	日本史概説
3		古代日本語論A	日本語文化演習	コミュニケーション・イタリア語A	
4			国語科教育法(中等)III		日本語文化演習
5				特別支援教育概論	

人文学部では、必ず履修しなければならない「必修」の授業は、ゼミと呼ばれる演習の授業などに限られています。学生は自分の関心や進路希望に応じて自由に時間割を組んでおり、誰一人として同じ時間割を組んでいる学生はいないと言ってよいでしょう。ここでは、その一例を紹介します。なお、同じ曜限が2つのマス目に分かれている場合、左欄が第1、3ターム、右欄が第2、4タームです（ターム制については4ページをご覧ください）。集中講義等は、夏休みの1週間に短期集中的に開講されたり、不定期に開講されたりする授業を指します。

心理学を広く学ぶ

心理・人間学プログラム（心理学分野）4年 酒川 卓登

公認心理師という資格の取得を目指し、知覚・認知・発達などの基礎心理学から臨床・犯罪・組織などの応用心理学まで心理学の科目を広く履修しています。相互に関連する内容も多いため、資格取得という目的に限らず様々な視点からの心理学の理解に繋がっていると感じます。



第6セメスター（3年2学期）

時限	月	火	水	木	金
1				社会意識論	
2		応用心理学			
3	心理学発展演習	障害児心理学演習		心理演習	学習・言語心理学
4		心理的アセスメント		心理学発展演習	
5					

集中講義等…心理学特殊実験B/心理学特殊講義/神経・生理心理学

第7セメスター（4年1学期）

時限	月	火	水	木	金
1					
2					
3	心理学発展演習				
4		健康・医療心理学			感情・人格心理学
5					

集中講義等…卒業論文/心理実習

Pick up!

「メジャー・マイナー制」で自分独自の学びを切り開く！

人文学部では、2年次から3つの学位プログラムのいずれかに所属し、メジャーと呼ばれる自分の専門分野の学びを深めていきます。他方で、分野を横断した学びも可能で、他のプログラムや他学部の授業も履修でき、条件や上限はありますが卒業認定単位に組み込めます。そうした自律的で横断的な学びを支援するために、新潟大学では46の系統的な教育プログラム(マイナー・プログラム)が提供されています。

人文学部の学生のあいだでは、「学修創生型マイナー」が最も人気があり、これは、自分自身で探究課題を設定し、その課題解決のために必要となる授業科目を自分で選択し履修するプログラムです。他のプログラムは履修すべき科目と修了要件が定められた「パッケージ型マイナー」です。人文学部生は、「社会文化学」など他の学位プログラムがパッケージされたものや「ドイツ語」や「フランス語」などの外国語のパッケージを選択しているほか、「データサイエンスリテラシー」「ふるさと共創学」「法学」「ことづくり・マネジメント」「応用生命科学/食品科学」など、学部を横断するプログラムに人気が集まっています。なお、マイナー・プログラムは1年次から履修登録することができ、途中で変更することも可能です。



「ふるさと共創学」の一コマ
写真提供：人文学部2年 飯塚美咲

国際交流・大学間交流

人文学部は外国の諸大学との教育・研究の交流を積極的に進め、グローバル化する現代社会に必要なバランス感覚を備えた人材を養成しています。在学中に積極的に長期・短期の留学をする学生諸君も多く、人文学部で学ぶ外国人留学生も徐々に増えてきました。さらに、敬和学園大学人文学部、新潟国際情報大学との間で単位互換協定を結んでいます。人文学部で学ぶということは、このように開かれた知的ネットワークの住人になることでもあるのです。

- | | | |
|---|--|--|
| <h3>イギリス</h3> <ul style="list-style-type: none"> シェフィールド大学 ブリストル大学 ブリストル大学文学部 <h3>イタリア</h3> <ul style="list-style-type: none"> ラクイラ大学 ミラノ大学 <h3>ドイツ</h3> <ul style="list-style-type: none"> ダルムシュタット工科大学 ビーレフェルト大学 ビーレフェルト大学 言語学・文学部及び歴史・哲学・神学部 マグデブルク・オットーフォンゲーリック大学 ルール大学ポフム東アジア学部 ミュンスター大学 <h3>リトアニア</h3> <ul style="list-style-type: none"> ヴィリニウス大学 <h3>トルコ</h3> <ul style="list-style-type: none"> アンカラ大学 中東工科大学 エーゲ大学 <h3>インド</h3> <ul style="list-style-type: none"> コーチン科学技術大学 インド理科大学院大学 インド工科大学ルーキー校 インド宇宙科学技術大学 <h3>ラオス</h3> <ul style="list-style-type: none"> ラオス国立大学 <h3>スリランカ</h3> <ul style="list-style-type: none"> ペラデニア大学 | <h3>フランス</h3> <ul style="list-style-type: none"> ナント大学 ボルドー・モンテーニュ大学 リヨン高等師範学校 ボルドー大学 ジャン・ムーラン・リヨン第3大学 <h3>オランダ</h3> <ul style="list-style-type: none"> ワーヘニンゲン大学 <h3>スペイン</h3> <ul style="list-style-type: none"> マドリッドコンプルテンセ大学 ナバーラ州立大学 <h3>クロアチア</h3> <ul style="list-style-type: none"> スプリット大学 <h3>ポーランド</h3> <ul style="list-style-type: none"> ウヅジ大学 コズミンスキー大学 <h3>ベトナム</h3> <ul style="list-style-type: none"> ハノイ工科大学 <h3>カンボジア</h3> <ul style="list-style-type: none"> 王立プノンベン大学 <h3>フィリピン</h3> <ul style="list-style-type: none"> アテネオ・デ・マニラ大学 <h3>タイ</h3> <ul style="list-style-type: none"> コンケン大学 スリン地域総合大学 チェンマイ大学 タマサート大学 チュロンコン大学 カセサート大学 モンクット王工科大学トンプリ校 ナレスワン大学 <h3>インドネシア</h3> <ul style="list-style-type: none"> ウダヤナ大学 | <h3>ロシア</h3> <ul style="list-style-type: none"> 国立極東人文大学 サンクト・ペテルブルク大学 極東連邦総合大学東洋学院 沿海地方国立農業アカデミー 極東国立農業大学 モスクワ国立大学 太平洋国立大学 モスクワ国立第一医科大学 極東連邦大学 <h3>アメリカ</h3> <ul style="list-style-type: none"> イリノイ大学シカゴ校 オレゴン大学 ミネソタ大学 カンザス州立大学 ニューヨーク州立大学ブドニア校 ロードアイランド大学 ロズウェルパーク癌研究所 <h3>モンゴル</h3> <ul style="list-style-type: none"> モンゴル医科学大学 モンゴル生命科学大学 モンゴル国立大学 モンゴル科学技術大学 モンゴル教育大学 <h3>カナダ</h3> <ul style="list-style-type: none"> アルバータ大学 <h3>オーストラリア</h3> <ul style="list-style-type: none"> シドニー工科大学 <h3>中国</h3> <ul style="list-style-type: none"> 華中科技大学 華中師範大学 華中師範大学外国語学部 華東師範大学国際漢語文化学院 華東理工大学公共社会管理学院 吉林大学東北アジア研究院 黒竜江大学 湖南大学 湖北大学 首都師範大学歴史学院 西安交通大学 清華大学 清華大学人文学院 清華大学人文学院歴史学部 大連理工科大学 中央民族大学 中国海洋大学文學院 中国人民大学国学院 <h3>台湾</h3> <ul style="list-style-type: none"> 義守大学 国立中央大学 国立彰化師範大学 国立成功大学 国立台湾師範大学 国立高雄師範大学 国立高雄大学 静宜大学 中原大学 長栄大学人文社会学院 東呉大学 南台科技大学 文藻外語大学 |
|---|--|--|

大 新潟大学が結んでいる大学間交流協定 部 人文学部が結んでいる部局間交流協定 学 学生交換協定がある大学 *2024年5月31日現在

教員紹介

助教 ENOMOTO Chikako 榎本 千賀子 (エノモト チカコ)

専門はメディア論です。市民が主体となってコミュニティの記録を保存・管理・活用するコミュニティ・アーカイブについて、福島県奥会津地域での実践を通して研究しています。また、人々が環境と応答して生み出す身近な「かたち」に関心を寄せ、写真作品を制作しています。情報通信技術の進展によって大きく変わりつつあるメディアと社会を、みなさんとともに考え、未来を探っていきたく願っています。

助手 EIKI Atsuko 永木 敦子 (エイキ アツコ)

留学に行く皆さんや、人文学部に来ている留学生の皆さんのお手伝いをしています。またアジア関係の雑誌や書籍などの管理も担当しています。資料について何か分からないことがありましたら、お気軽にお尋ね下さい。

留学生の声

自分の成長を感じられた留学生活

赤木 美祐希 朝鮮文学卒業生

私は3年の後期に半年間、韓国の漢陽大学に留学しました。韓国語運用能力を高めるため、正規の授業を受けながら語学にも通いました。最初は先生の話やちゃんと聞き取れず、しんどい思いをしましたが、会話練習を重ねるうちに慣れました。毎日韓国語に囲まれて生活するので自分の成長を感じられました。私が大好きな韓国アイドルの大型広告や、誕生日に開催されるカフェを実際に見に行けるのも幸せでした。街を歩くだけで韓国語を勉強するモチベーションが上がりました。たまに「日本の方ですか?」と日本語で声をかけてくれる店員さんがいて、日本語で話しかけてくれたことも嬉しかったし、日本語と韓国語でアニメの話をして楽しかったのが記憶に残っています。いまは翻訳機も発達していますが、自分で考えて自分の言葉で話すことの大切さを実感しました。新型コロナウイルスに感染したことを含め、私にとって留学は、精神的にも語学力の面でも成長させてくれたかけがえのない経験です。



念願だったアメリカ留学

佐藤 はな 英米言語文化卒業生

私は3年次の後期から約9か月間、アメリカのロードアイランド大学に交換留学をしました。高校生の時から留学をして異文化に触れてみたいという夢を描いていましたが、コロナ禍もあってなかなか海外への渡航が難しい状況が続き、3年生になってやっとその夢が叶いました。大学があるロードアイランド州は、アメリカの全州の中でも最も小さく、綺麗な海に囲まれた、美しく落ち着いた所です。ボストンやニューヨークに近く、それぞれ電車で気軽に行けるので、週末や長期休みを使って遊びに行ったりしていました。平日は授業や課題で忙しい生活を送っていましたが、一緒に住んでいる国際寮の仲間たちと一緒に食事したり、映画を見たりする時間が日々の励みになっていました。大学では現地の学生と同じ正規科目の授業を受けていたため、最初はついていくことに精一杯でしたが、自分で決めた目標に挑戦し、それをやり遂げられたことは今の自信に繋がっていると感じています。



自分の世界はより一層広がりました

ゼン・カオン フランス言語文化卒業・現代社会文化研究科在学中

4年生の時の交換留学でフランス語の環境に浸かって、いろいろな新しい知識を得たほか、おいしい食べ物もさまざま知ることができました。大学のキャンパスの中の寮での学生生活も穏やかで楽しく過ごせました。フランス人向けの日本語ボランティアとして大学の日本語の授業にも参加できましたが、むしろ、自分が日本語を再び勉強することができたと思います。また、毎週月曜日に大学であったダンス教室もとても愉快でした。留学前、新潟大学人文学部でフランス語とフランス文学を勉強するときに目にしたフランスの風景に、じっさい出会ったときは、ほんとうに頭がくらくらするほど感動しました。さらには、ボルドー・モンテーニュ大学では、世界中から来た人々と出会って、それぞれの人生経験を聞いて、自分の世界はより一層広がりました。皆さんも、自分が学んだ言葉を実際に使いたい、その言葉が生まれた国を見に行きたいと思ったら、ぜひ行ってください。



新潟での充実した留学生活

ティモフェイ・カピチニコフ ロシア サンクト・ペテルブルク大学

私の名前はティモフェイ・カピチニコフ、20歳です。ロシアのサンクト・ペテルブルク大学から新潟大学に来ました。新潟大学では、自分でカリキュラムを組むことができ、さまざまな興味深く有益な分野を学ぶことができました。そして何より、日本語をできるだけ学び、日本文化に浸り、日本の伝統や習慣を理解したいと思っていました。そうして、日本語の文法を勉強し、日本語の文章を読み、経済や政治など日本社会のさまざまな側面を理解できるように努めました。在学中は、バレーボールが好きなので、新潟大学バレーボール部に入学しました。バレーボール部では、新潟のことをたくさん教えてくれたり、面白い場所やおいしいレストランを教えてくれたり、いつも私の面倒を見て助けてくれたりする面白い人たちに出会いました。バレーボール部では日本人の友だち以外にも、いろいろな国の人と出会いました。彼らとのコミュニケーションも、異文化について学ぶことが多く、とても興味深かったです。新潟大学で勉強している間、私はロシア語の学生のための会話クラブ(ロシア語チャット)を組織しました。そこで出会った友人たちもいつもとても親切にしてくれて、日本の伝統的な祝祭・儀礼にも連れて行ってくれました。最後になりましたが、このような素晴らしい大学で勉強する機会を与えてくださった新潟大学の方々にとっても感謝しています。また、いつも私の面倒を見てくれ、日本の文化や生活について学ぶ手助けしてくれた友人たちにも感謝しています。日本で勉強したいと思っているロシアの知り合いに、新潟大学を勧めたいと思います!



就職データ

就職状況(過去3年間)

■ 令和3年度卒業生 令和4年5月1日現在

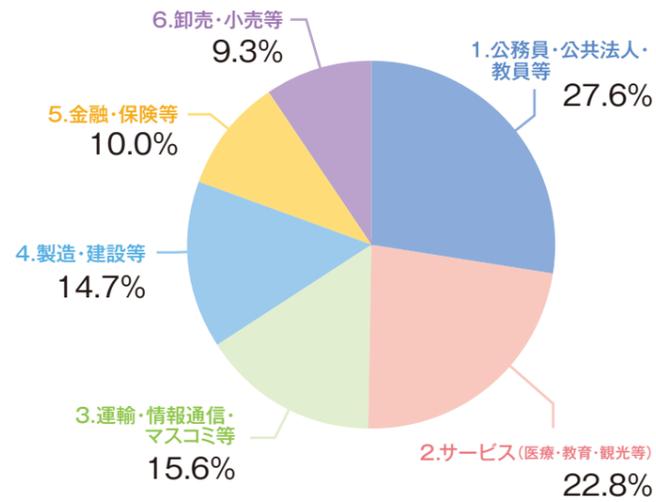
就職率 **99.5%** (男 100% 女 99.3%)

■ 令和4年度卒業生 令和5年5月1日現在

就職率 **100%** (男 100% 女 100%)

■ 令和5年度卒業生 令和6年5月1日現在

就職率 **95.7%** (男 96.2% 女 95.4%)



過去3年間の主な就職先

1 公務員・公共法人・教員等

- 農林水産省、原子力規制庁、国立印刷局、関東信越国税局、新潟労働局、群馬労働局、山形労働局、秋田労働局、東京労働局、東北管区警察庁、東北経済産業局、東北財務局、東北農政局、東北防衛局、福島地方検察庁、福島地方裁判所、法務省専門職員保護観察官、北陸地方整備局、甲府地方方法務局
- 都道府県庁(新潟県、北海道、青森県、秋田県、岩手県、宮城県、福島県、東京都、栃木県、群馬県、埼玉県、茨城県、長野県、石川県、富山県、福井県、和歌山県など)
- 市役所(新潟市、長岡市、新発田市、三条市、燕市、阿賀野市、佐渡市、村上市、伊勢崎市、桐生市、小山市、大山市、山形市、仙台市、鹿嶋市、砺波市、行方市、塩尻市、郡山市、山口市)
- 東京都特別区(中央区、渋谷区、足立区など)
- 町村役場(みなかみ町、会津坂下町、猪苗代町、只見町、東京都葛飾区役所、東京都中央区役所)
- 海上自衛隊 ■ 県警察(新潟県)
- 国立大学法人(新潟大学、上越教育大学、山形大学、富山大学、千葉大学、群馬大学)
- 公立大学法人(新潟県立看護大学) ■ 学校法人(日本歯科大学)
- 農業協同組合(全国農業協同組合連合会、JA新潟つぎ、JA全農いわてほか)
- 中高教員(新潟県、山形県、福島県、栃木県、埼玉県、富山県ほか)
- 長野市学芸員など

2 サービス(医療・教育・観光等)

マイナビ、トライト、新潟情報サービス、D.A.コンソーシアム、ICEONE、JR東日本びゅうツーリズム&セールス、JR東日本新潟シティクリエイト、KOKK(ハミングツアー)、NSGグループ、RIZAPグループ、SPRIX、アウトソーシング、イオンディライト、きららホールディングス、ケアリッツ・アンド・パートナーズ、セクスイハイム信越、セコム上信越、ベネッセスタイルケア、リビングギャラリー、ワークポート、ワオ・コーポレーション、旭化成ホームズ、積水ハウス、新潟県労働衛生医学協会、越後中央農業協同組合、社会福祉法人ロンگران、社会保険診療報酬支払基金、住商アーバン開発、新潟グランドホテル、新潟高度情報学園、積水ハウス、全国健康保険協会、創英コーポレーション、早稲田学習研究会、総合メディカル、当間高原リゾート、日経ブレイン、日本スキー場開発、日本交通、日本年金機構など

3 運輸・情報通信・マスコミ等

BSNアイネット、クリーク・アンド・リバー、ジェイマックソフト、CEC、Freewill、HRビジョン、KDDIエボルバ、NECネクサソリューションズ、NS・コンピュータサービス、楽天、ドコモサポート、SBテクノロジー、SCSK、SGシステム、SJC、TISソリューションリンク、TOSYS、アウトソーシングテクノロジー、あとらす二十一、アイデア・レコード、えちごキメキ鉄道、NTTデータ、コムテックス、テレビ新潟放送網、ドコモ・サポート、フクク情報システム、茨城新聞社、若手日報社、新潟テレビ21、山形テレビ、秋田朝日放送、新潟テレビ21、新潟日報社、第一貨物、中日新聞社、東日本旅客鉄道、東北新社、東北電子計算センター、日本システム開発、日本貨物鉄道、日本交通、日本総合システム、日立社会情報サービス、富士通エフ・アイ・ピー・システムズ、福島民報社、福島民友新聞など

4 製造・建設等

本田技研工業、ヤマハモーターエレクトロニクス、いすゞ自動車、UCCコーヒー、いなば食品、JA全農いがた、SUMCO、THK新潟、アドバンテック、東日本高速道路、東京電力ホールディングス、東北電力、北海道電力、エネコ、ココ・コーポレーションジャパン、システム精工、シャトルゼ、でん六、ホクレン肥料、ヤマキ、ロード製菓、一条工務店、共和工業、三井住友建設、三井物産プラスチック、住居時間、小俣組、雪国まいたけ、コロナ、ぎょうせい、帝人フロンティアDC、島津ホールディングス、東洋クリエイト、東洋紙業、凸版印刷、日本工機、日本食研ホールディングス、日本道路、日立ICTビジネスサービス、富樫組、富士ゼロックス東京、北沢建設、本間組、明和工業、第一印刷所など

5 金融・保険等

第四北越銀行、大光銀行、山形銀行、福島銀行、七十七銀行、北陸銀行、北海道銀行、東邦銀行、八十二銀行、ZUU、アイザワ証券、アセアン・フィナンシャル・ホールディングス、イオンフィナンシャルサービス、かんぽ生命、こくみん共済Coop、ソニー損害保険、ビューカード、みずほフィナンシャルグループ、横浜銀行、丸三証券、三井住友信託銀行、新潟県農業共済組合、新潟県労働金庫、新潟県信用組合、新発田信用金庫、第一生命保険、第四北越証券、中央労働金庫、長野県信用組合、東京海上日動火災保険、日本政策金融公庫、日本生命保険相互会社、芙蓉総合リース、明治安田生命保険相互会社など

6 卸売・小売等

アマゾンジャパン合同会社、コメリ、アクシアルリテイリング、トップカルチャー、クスリのアオキ、ニトリホールディングス、ヤマダホールディングス、アーランドサカモト、東京インテリア家具、イオンリテール、ウオロク、ケンキー、JR東日本商事、ココミノルタジャパン、スズキ自販新潟、タケショー、たちばな、ダブルエー、テスコ、テンポスバスターズ、ハーモニック、フレッシュ、ペイシア、マルイ、メガネ流通センター、やまや、ユニバース、リコージャパン、ルック、レスターホールディングス、杏林堂薬局、丸善ジュンク堂書店、原信ナルス、三光社、昭和電機産業、新潟酒販、星光堂薬局、清川屋、石井スポーツ、大河実業、日野屋玩具店など

大学院進学者数: 令和3年度卒業生8名、令和4年度卒業生11名、令和5年度卒業生19名
進学先: 新潟大学、北海道大学、弘前大学、東北大学、山形大学、福島大学、東京大学、一橋大学、筑波大学、金沢大学、名古屋大学、大阪公立大学、京都大学、広島大学、岡山大学、九州大学、法政大学、新潟青陵大学

卒業生の声

自分の興味を大切に

青森県庁 大瀬 綾乃

高校生の進路選択の時、特に将来の夢もなく、最初は法学部や経済学部なら就職に役立つかなと考えていました。その後、心理学を専攻できる大学があると知り、心の仕組みを学んでなんか面白そう!という単純な理由で、心理学を専攻しようと決めました。4年間で特に印象深いのは、心理学実験です。日常生活や先行研究から浮かんだ疑問に対して、自分で実験を組み立て、結果を客観的に分析し、わかりやすい文章でまとめます。難しいですが、奥が深く非常にやりがいがありました。この経験から、仕事でも説得力のある資料作りを心がけています。私は少しの興味から、心理学という、人間を、ひいては自分自身を紐解くことのできる学問と出会うことができました。ぜひ、皆さんも自分の興味が惹かれる方へ進んでみてください。



自分の言葉を積み重ね、自身を形づくる

国立研究開発法人 理化学研究所 山田 太郎

世の中にはありきたりな言葉が溢れています。「普通」や「青春」、「流行」や「頑張り」など、僕たちの存在や経験はありきたりな言葉で表現されます。しかし、ありきたりな言葉で自身を表現し続けると、どこか自分が自分から離れていってしまうような感覚に陥ってしまいます。そうしたありきたりな言葉たちから離れたところにある自分だけの言葉が、僕だけのかけがえなさを形づくってくれました。この先の人生、僕という一人の人間として生きる時間の方が、大学生だった期間より遥かに長いはずですが。大学のあの部屋で過ごした日々で見つけた僕という人間にとってのかけがえなさが、例えばそれが六等星ほどの微かな輝きだとしても、これからの人生という長い道を照らしてくれています。



日本の芸能を学ぶ

東京リスマチック株式会社 甲斐 彩葉

私は日本の芸能について学ぶ芸能論ゼミに所属していました。高校の修学旅行で能を鑑賞したことがきっかけで、能をはじめとする日本の芸能に興味を持ちました。卒業論文は近代の能を題材にし、近代に新作された能がどのように上演・評価されたかを、当時の雑誌・新聞記事から調査しました。膨大な史料一つ一つを丁寧に読み解きまとめあげていくという経験は、社会人となった今でも役に立っています。私は印刷会社に就職しましたが、印刷の知識やDTPスキルは全くありませんでした。しかし、この地道に物事に取り組んだ経験を大切にすることで、未経験ながらも日々の業務をこなすことができている。大学で学んだことは、卒業してからも自身の支えになってくれると思います。学生生活が実り多いものになるよう応援しています。



歴史学の学びが仕事につながる

新潟日报社 記者 笠原 萌志

新潟県の新聞社、新潟日报社に入社し、新聞記者として働いています。ニュースを読者に届けるために、取材で新潟県内を駆け回る毎日です。大学では日本近現代史を専攻していました。歴史を権力者の側から見るとはならず、一般民衆の側から見ると新しい発見があると考え、特に「民衆史」に興味を持ちました。卒業論文ではハンセン病療養所における、宗教の役割について研究しました。自身で問いを設定し、史料を基に考察を深めていくことは歴史学の醍醐味です。大学では先行研究を踏まえて、情報を整理することの重要性を学びました。記者の仕事も似ています。準備で資料や過去記事を参考に、情報がどこまで公開されているのかを確認します。そして新しい情報を引き出すための質問を考えるという作業をしています。大学での学びが仕事に生きています。



学んだことを振り返りながら今を生きる

栃木県庁 高橋 明日香

元々、中国の文化に興味があり、大学で中国語を始めました。隣の国、料理や芸術など、好きなものがたくさんあったからです。また、高校時代は漢文が得意だったため、中国文学を専門に選びました。卒業して仕事を始めてからも、大学でこの分野を専攻してよかったと思うことがありました。職場で興味を持ってくださった方が、意外にも、私が大学で学んだ古典小説の日本語版を全部読んでくださり、「人間模様が結構描かれていて面白いね。」と感想を聞かせてくれたことは大きな喜びでした。電話相談窓口の方は、人の悩みを聞くために、考え方や生き方を色々な本から学ぶそうです。そのような文学の活かし方もあるのだと気づきました。大学で学んだことは、いずれどこかで役に立つと思います。皆さんも興味のあることに進んで取り組んでみてほしいです。



文学が心の支えとなる

米沢市役所 東條 祐貴

大学ではイギリスやアメリカの文学を学びました。卒業して7年目になりますが、社会に出ると、どうしても楽しいことばかりではありません。2年前、これまで生きてきた中でとても辛いことがありましたが、詩や小説に触れ、支えとなる言葉を拾い集めることで、自分自身を取り戻し、何とかが乗り切ることができました。就職に有利だとか、資格が取れるだとかいった、目に見える分かりやすさは文学にはありません。しかし、物語の登場人物や詩人たちと無言の会話を交わしていく中で、自分が自分であることのできる心の居場所を作り上げていくことができます。そんな喜びを堪能できるのも文学を専攻する大きな意義だと思います。これから人生の酸いも甘いもかみ分けていく皆さん。大学で学んだ文学作品があなたに寄り添い、人生の支えとなってくれるはずですよ。



